

2 モエン標準施工法

＜木造納まり詳細図＞

2－ 1	木造軸組下地	横張り	金具施工
2－ 2	木造軸組下地	縦張り	金具施工
2－ 3	木造軸組下地	横張り	通気金具施工
2－ 4	木造軸組下地	縦張り	通気金具施工
2－ 5	木造軸組下地	横張り	釘打ち施工
2－ 6	木造軸組下地	縦張り	釘打ち施工

2-1 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

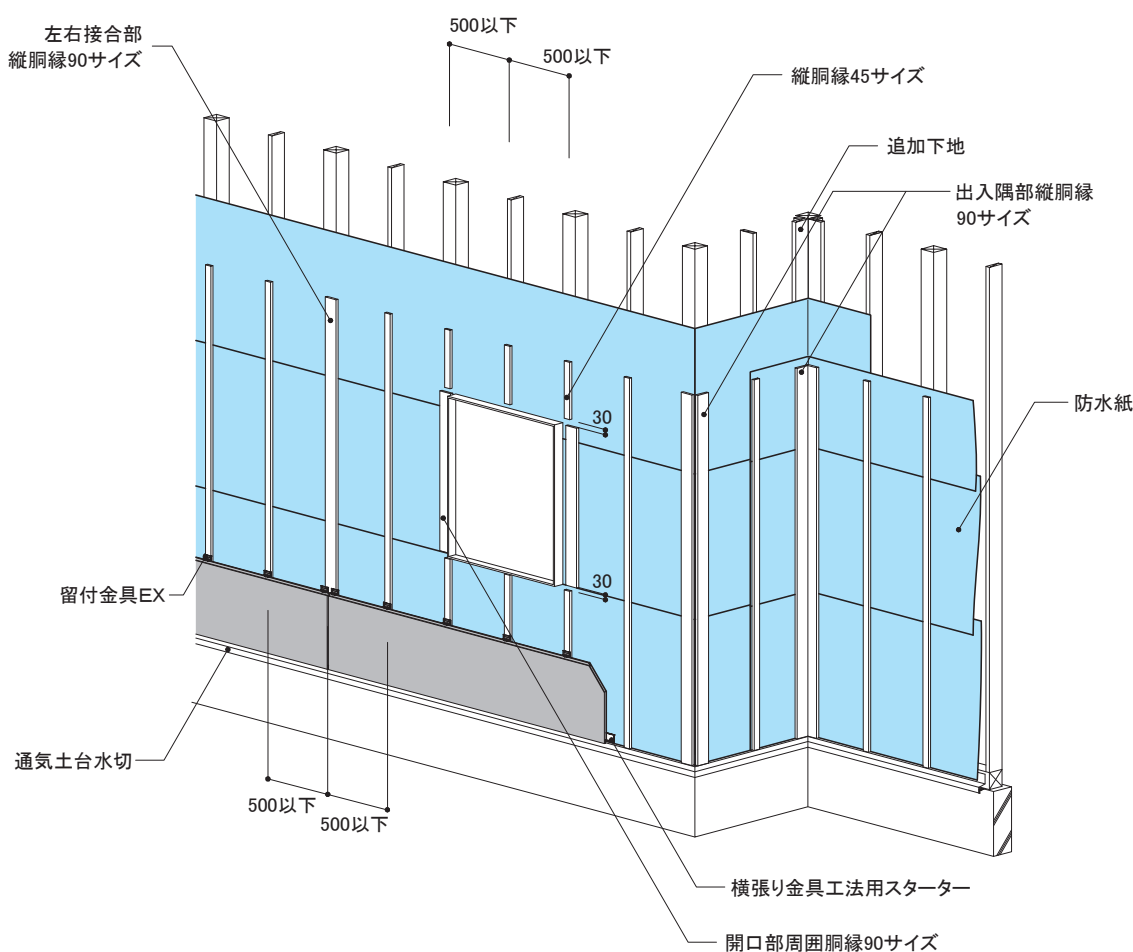
横張り

金具施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 入隅部や出隅部などで胴縁が躯体に留め付けられない場合は、追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
- 下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、左右接合部、出入隅部や開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm以上を使用します。
- 木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3.8mm×50mm以上の木ビスを用いて、500mm以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸(段差)が3mm以下となるように調整して施工します。
- 開口部まわりの縦胴縁は30mm程度隙間を設け、通気する構造とします。
- 積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。(P33参照)



16～18mm厚品 1.5尺×10尺 EX S	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
	木造軸組下地	金具	横	縦胴縁 @500mm以下

2) 主要部材一覧表		1. 5尺×10尺	
■スターター 横張り金具工法用スターター-A 【品番: FA150A】 (エクセラード用) (モエンS18: ハルモニアシリーズ用) 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.8mm 長さ: 3,030mm 備考: 専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ: 500mm以下	■スターター 横張り金具工法用スターター-B (モエンS18: ハルモニアシリーズ以外用) 【品番: FA150B】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.8mm 長さ: 3,030mm 備考: 専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ: 500mm以下	■一般部金具 横張り用留付金具EX (エクセラード用) (モエンS18: ハルモニアシリーズ用) 【品番: JE555】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用釘同梱	■一般部金具 横張り用留付金具EX (モエンS18: ハルモニアシリーズ以外用) 【品番: JE650】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用釘同梱
■出隅部金具 横張り用留付金具EX出隅用 (エクセラード用) (モエンS18: ハルモニアシリーズ用) 【品番: JE550C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用釘同梱	■出隅部金具 横張り用留付金具EX出隅用 (モエンS18: ハルモニアシリーズ以外用) 【品番: JE650C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用釘同梱	■出隅部金具 横張り用留付金具EX出隅用Ⅱ (エクセラード用) (モエンS18: ハルモニアシリーズ用) 【品番: JE552C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 本体には使用できません	■出隅部金具 横張り用留付金具EX出隅用Ⅱ (モエンS18: ハルモニアシリーズ以外用) 【品番: JE652C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 本体には使用できません
■専用ビス (スターター・金具留付用) 通気留付金具EX専用ビス 【品番: JK1151】 材質: ステンレス サイズ: φ4.1mm×35mm	■専用釘 (金具留付用) モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番: JK440】 材質: ステンレス サイズ: φ2.3mm×38mm	■専用釘 (エクセラード表面留め用) モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番: JKW840Bなど】 材質: ステンレス サイズ: φ2.75mm×50mm	■専用釘 (モエンS表面留め用) モエン用釘(ステンレススクリー釘) 【品番: JK500E】 材質: ステンレス サイズ: φ2.3mm×50mm
■スパーサー スパーサー05 【品番: FS1005】 長さ: 1,200mm 材質: ポリプロピレン スパーサー05(ピースタイプ) 【品番: FSP1005】 長さ: 1,000mm 材質: ポリプロピレン	■ハットジョイナー ハットジョイナー10 【品番: FH1010R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 3,030mm 表面色: クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー 片ハットジョイナー10 【品番: FHK1110R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 2,000mm 表面色: クリアーレッド着色	■入隅50 入隅50 【品番: JR1900】 材質: 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.27mm 長さ: 3,030mm

※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

16～21mm厚品 1.5尺×6尺

EX

下 地
木造軸組下地

留付方法
金具

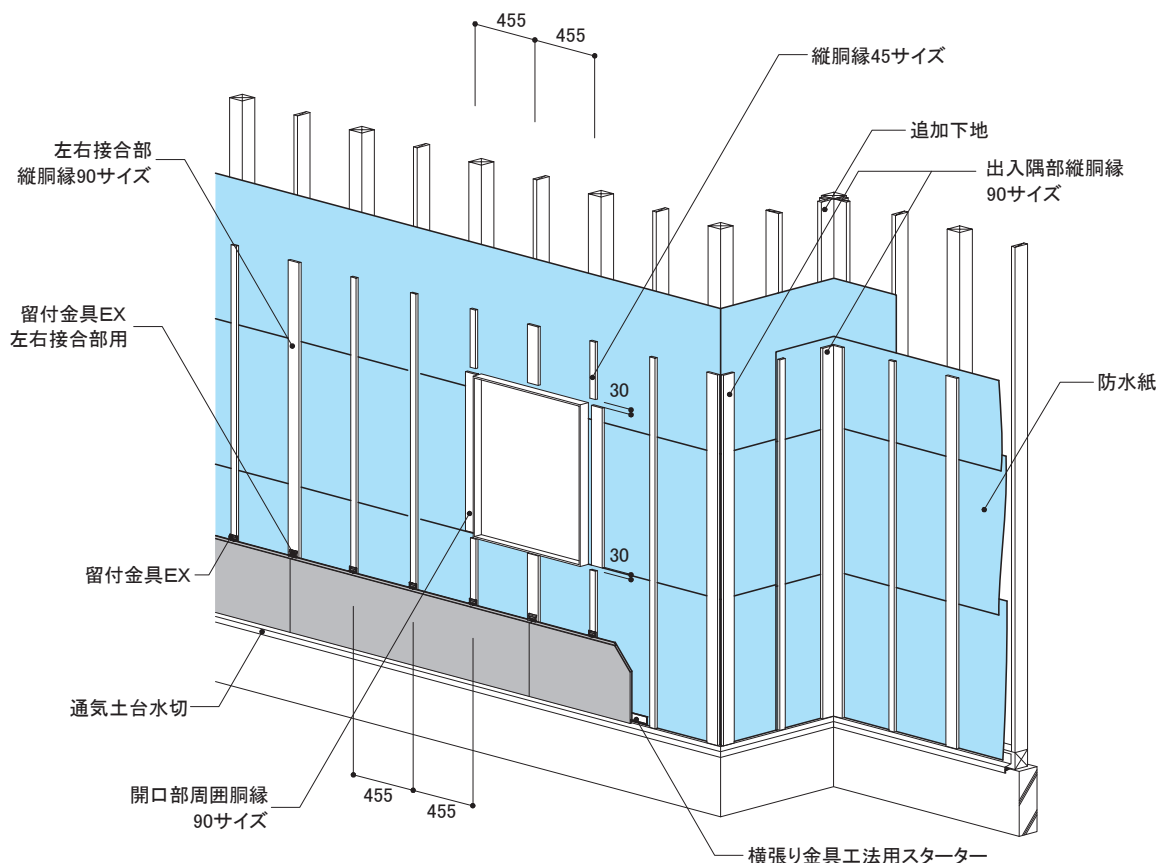
張り方向
横

木胴縁組
縦胴縁
@455mm

3) 基本構成図・下地組図

1.5尺×6尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 入隅部や出隅部などで胴縁が躯体に留め付けられない場合は、追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
- 下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、左右接合部、出入隅部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm以上を使用します。
- 木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3.8mm×50mm以上の木ビスを用いて500mm以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸(段差)が3mm以下となるように調整して施工します。
- 開口部まわりの縦胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- 積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。(P33参照)



モエン
標準施工法

納まり詳細図
木造

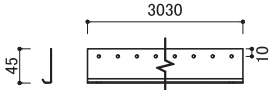
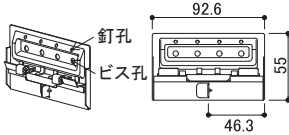
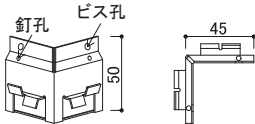
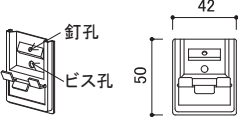
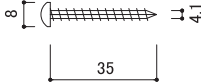
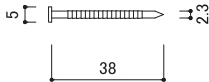
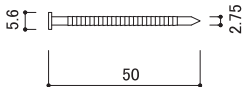
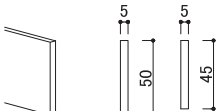
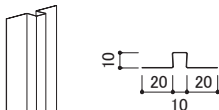
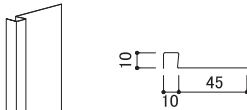
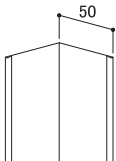
鉄骨造
納まり詳細図

外張り
断熱施工法

アウティ

軒天

参考資料

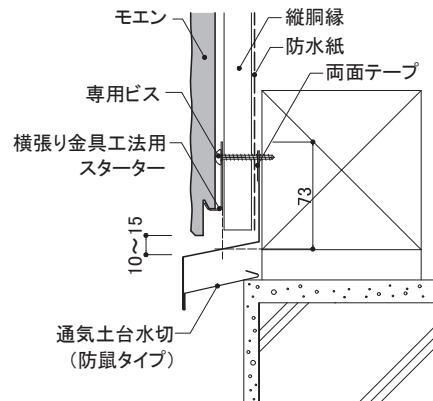
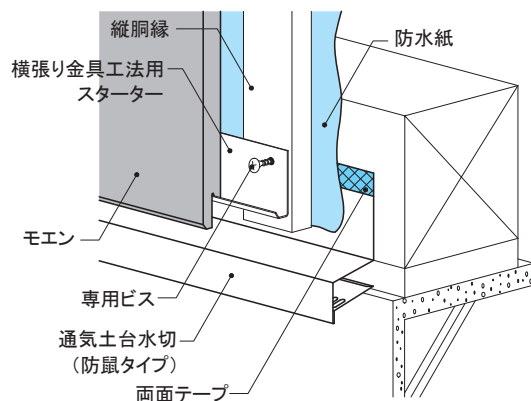
16～21mm厚品		1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組	
EX		木造軸組下地		金具	横	縦胴縁 @455mm	
4) 主要部材一覧表			1. 5尺×6尺				
■スターター  横張り金具工法用スターターA 【品番: FA150A】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.8mm 長さ: 3,030mm 備考: 専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ: 500mm以下		■一般部金具  横張り用留付金具EX (エクセラード用) 【品番: JE555】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用釘同梱		■左右接合部金具  横張り用留付金具EX左右接合部用 (エクセラード用) 【品番: JEJ565】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用釘2本または 専用ビス2本で留め付ける		■出隅部金具  横張り用留付金具EX出隅用 (エクセラード用) 【品番: JE550C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用釘同梱	
■出隅部金具  横張り用留付金具EX出隅用Ⅱ (エクセラード用) 【品番: JE552C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 本体には使用できません		■専用ビス (スターター・金具留付用)  通気留付金具EX専用ビス 【品番: JK1151】 材質: ステンレス サイズ: φ4.1mm×35mm		■専用釘 (金具留付用)  モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番: JK440】 材質: ステンレス サイズ: φ2.3mm×38mm		■専用釘 (モエン表面留め用)  モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番: JKW840Bなど】 材質: ステンレス サイズ: φ2.75mm×50mm	
■スペーサー  スペーサー05 【品番: FS1005】 長さ: 1,200mm 材質: ポリプロピレン スペーサー05(ビスタイプ) 【品番: FSP1005】 長さ: 1,000mm 材質: ポリプロピレン		■ハットジョイナー  ハットジョイナー10 【品番: FH1010R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 3,030mm 表面色: クリアーレッド着色		■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー10 【品番: FHK1110R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 2,000mm 表面色: クリアーレッド着色		■入隅50  入隅50 【品番: JR1900】 材質: 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.27mm 長さ: 3,030mm	

※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

16～21mm厚品 (EX) (S)	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 縦胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	金具	横	

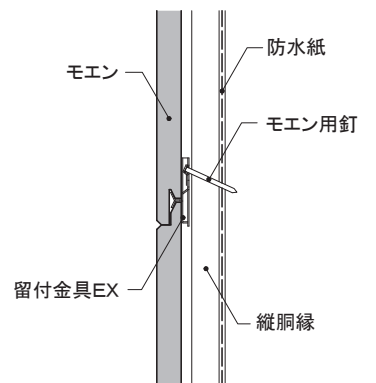
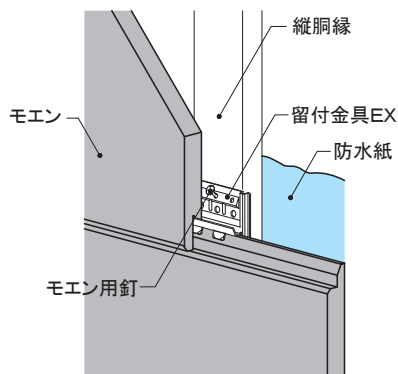
5) 土台部

- 通気土台水切は、土台に500mm以下の間隔でモエン用釘などを用いて水平に取り付けます。
- 横張り金具工法用スターターは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で胴縁ごと(500mm以下の間隔)に留め付けます。釘打ちは厳禁です。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。



6) 上下接合部

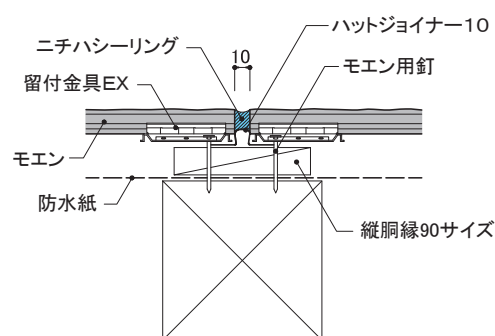
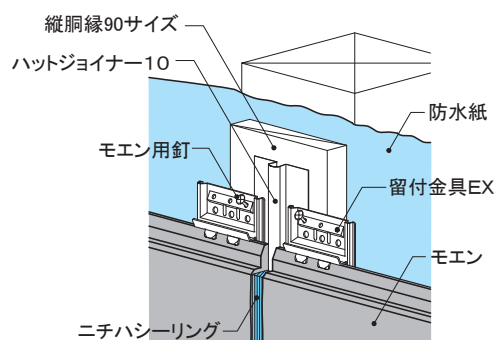
- 実に留付金具EXを確実に納め、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm)または専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。



7) 左右接合部

① 1.5尺×10尺

- 左右接合部には、ハットジョイナー10を取り付けます。
- 実に留付金具EXを確実に納め、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm)または専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



16～21mm厚品

1.5尺×6尺

下 地

留付方法

張り方向

木胴縁組

EX

木造軸組下地

金具

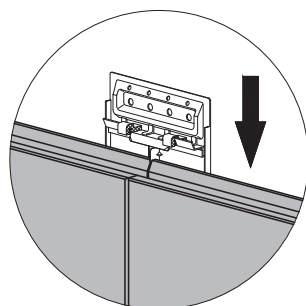
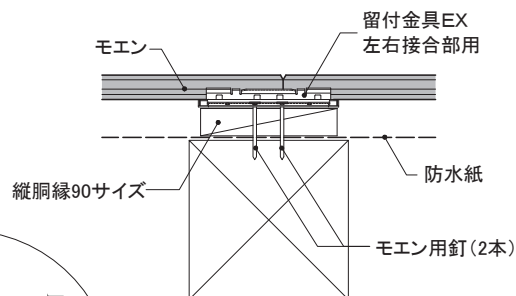
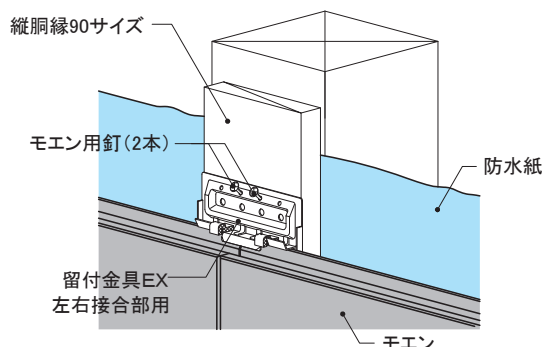
横

縦胴縁
@455mm

7) 左右接合部

② 1.5尺×6尺

- 四方合いじゃくり品の左右接合部には、留付金具EX左右接合部用を使用し、合いじゃくり部を確実に納め、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm)2本または専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)2本で留め付けます。

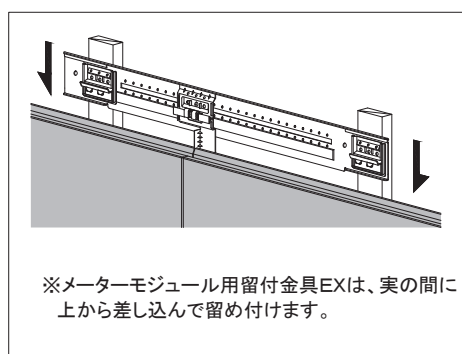
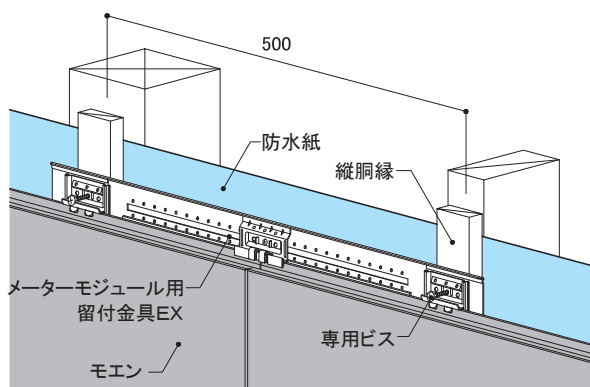


※留付金具EX左右接合部用は、
実の間に上から差し込んで留め
付けます。

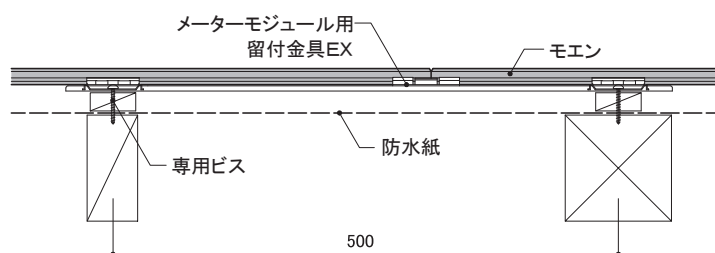
7) 左右接合部

③ 1.5尺×6尺(メーターモジュールなど)

- メーターモジュール(または間くずれなど)の四方合いじゃくり品左右接合部には、メーターモジュール用留付金具EXを使用し、合いじゃくり部に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。(メーターモジュール用留付金具EXの施工方法は、P55をご参照ください。)



※メーターモジュール用留付金具EXは、実の間に
上から差し込んで留め付けます。



16～21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

(EX) (S)

下 地
木造軸組下地

留付方法
金具

張り方向
横

木胴縁組
縦胴縁
@500mm以下

モエン
標準施工法

納まり詳細図
鉄骨造

納まり詳細図
断熱工法

外張り
断熱工法

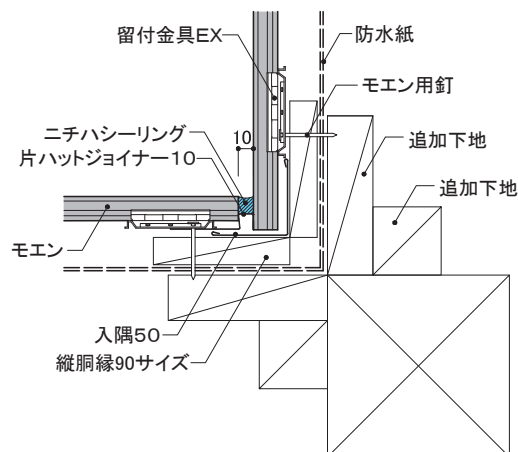
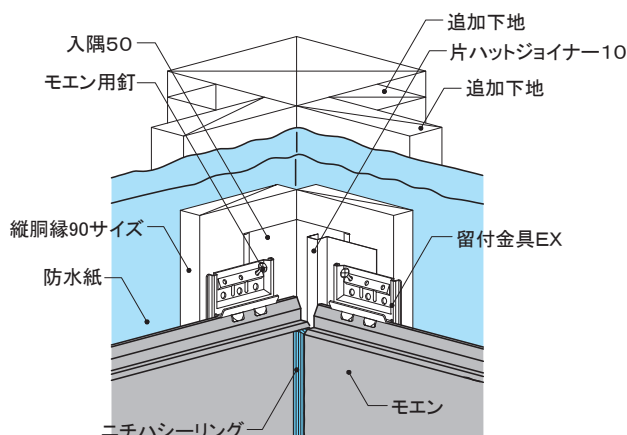
アウティ

軒天

参考資料

8) 入隅部

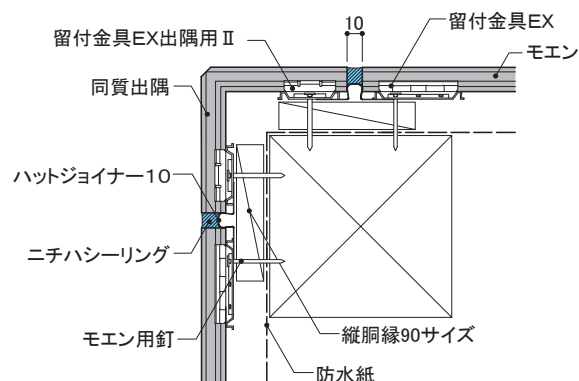
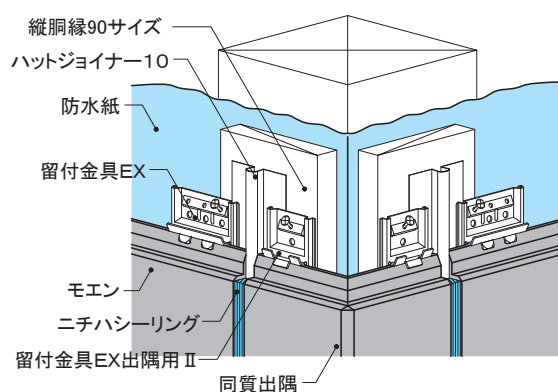
- 入隅部は、金具類の留付下地として必ず追加下地を入れます。
- 入隅50を取り付けた後、先行のモエンを施工し、片ハットジョイナー10を取り付けます。
- 実際に留付金具EXを確実に納め、モエン用釘（ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm）または専用ビス（ステンレスビスφ4.1mm×35mm）で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



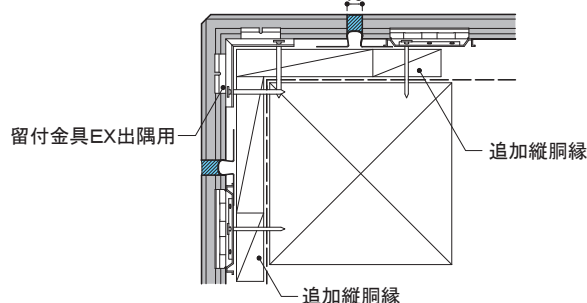
9) 出隅部

同質出隅

- 同質出隅は、留付金具EX出隅用Ⅱまたは留付金具EX出隅用で留め付けます。
- 留付金具EXを実際に確実に納め、モエン用釘（ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm）または専用ビス（ステンレスビスφ4.1mm×35mm）で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー10を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



- 留付金具EX出隅用を使用する際は、胴縁を角まで納めるため、右図のように胴縁を追加します。



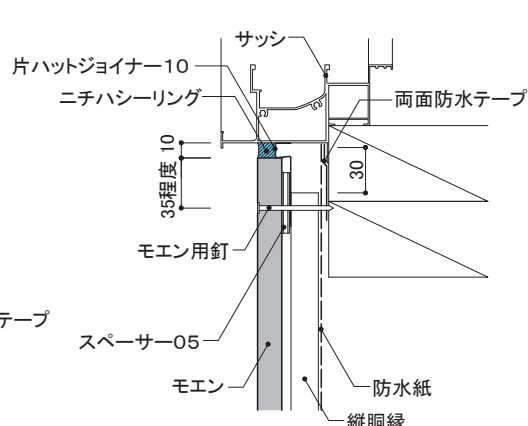
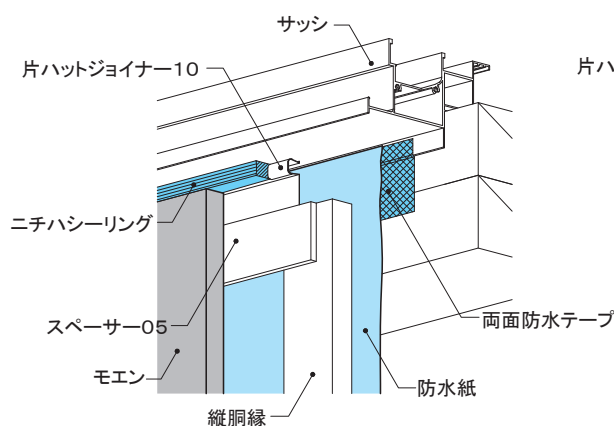
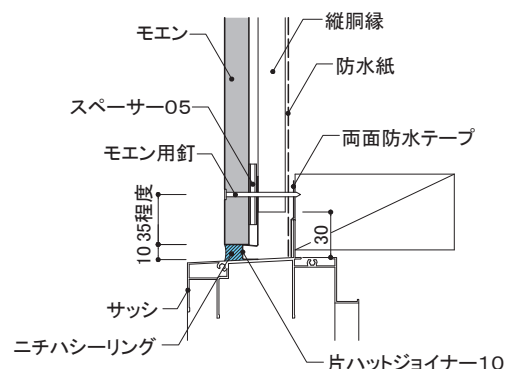
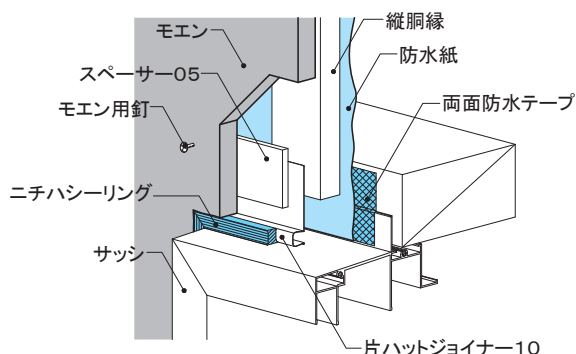
図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

16~21mm厚品 EX S	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	金具	横	縦胴縁 @500mm以下

10)開口部

①上下側

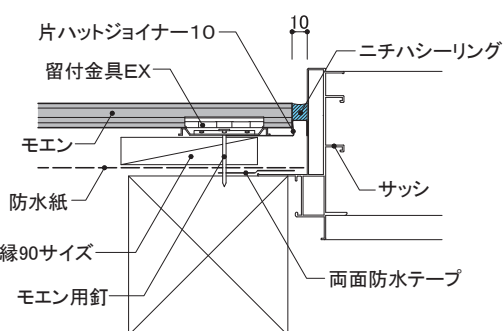
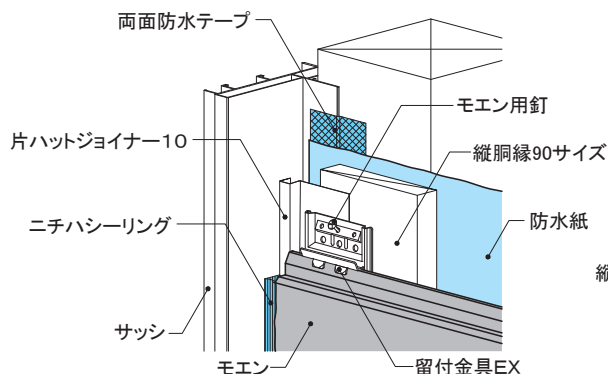
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部上側・下側には、片ハットジョイナー10、スペーサー05の順に取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



10)開口部

②左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部左右には、片ハットジョイナー10を取り付けます。
- 留付金具EXを実に確実に納め、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm)または専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



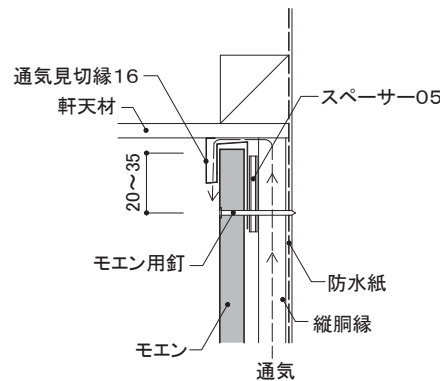
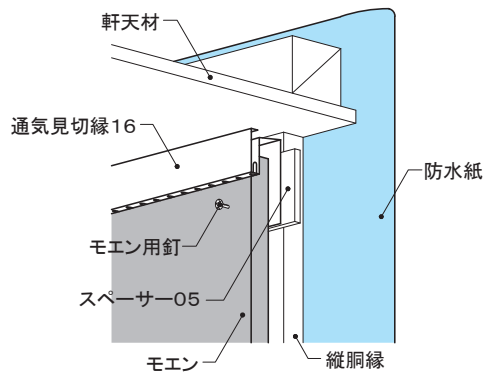
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16～21mm厚品 (EX) (S)	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 縦胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	金具	横	

11) 軒天部

①通気見切縁

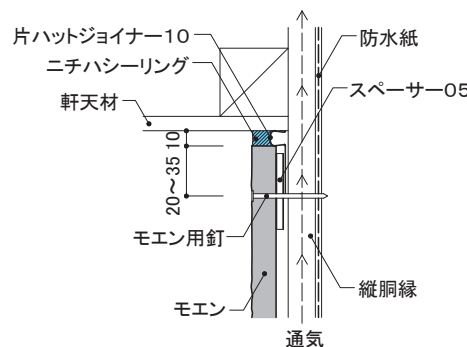
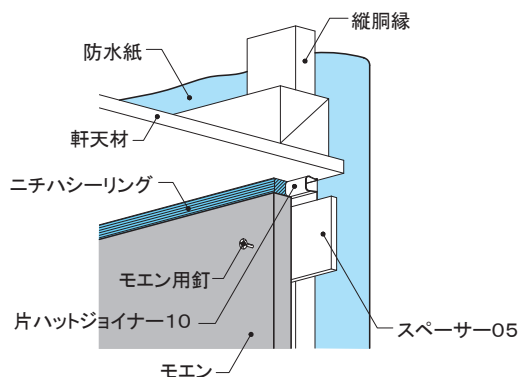
- モエンの施工前にスペーサー05を取り付け、通気見切縁16(18mm厚以上品の場合は、通気見切縁21)を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



11) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りと胴縁下地組みは軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、片ハットジョイナー10、スペーサー05の順に取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。

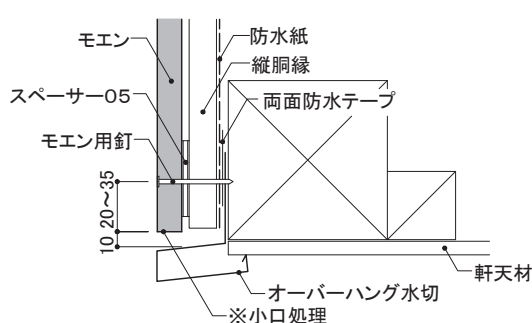
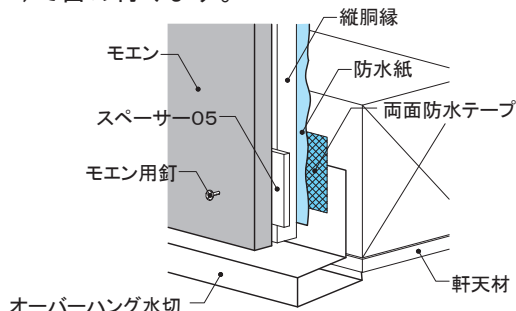


16~21mm厚品 EX S	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	金具	横	縦胴縁 @500mm以下

12) オーバーハング部

① オーバーハング水切

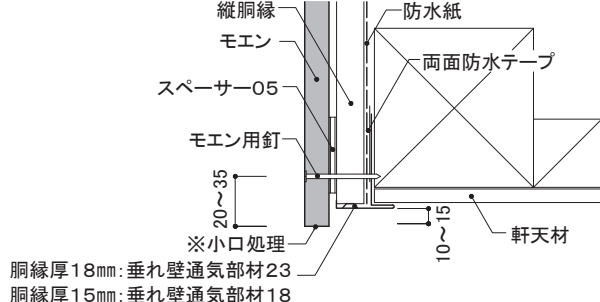
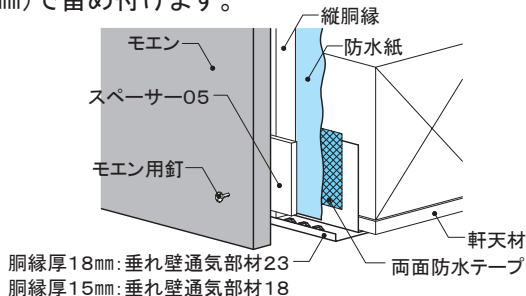
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



12) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

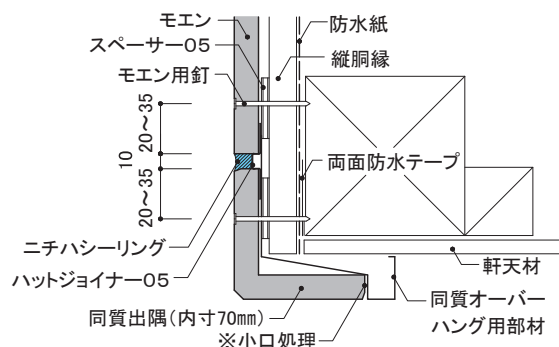
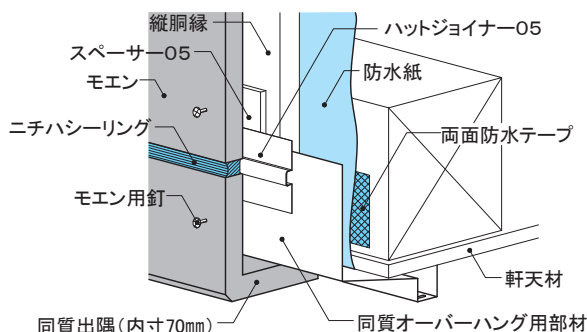
- 縦胴縁の厚みが18mmの場合は「垂れ壁通気部材23」を、縦胴縁の厚みが15mmの場合は「垂れ壁通気部材18」を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



12) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 防水紙を両面防水テープで貼り付けます。
- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- モエン本体、同質出隅はスペーサー05、同質オーバーハング用部材、ハットジョイナー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16～21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

(EX) (S)

下 地
木造軸組下地

留付方法
金具

張り方向
横

木胴縁組
縦胴縁
@500mm以下

モエン
標準施工法

納まり詳細図

鉄骨造
納まり詳細図

外張り
断熱工法

アウティ

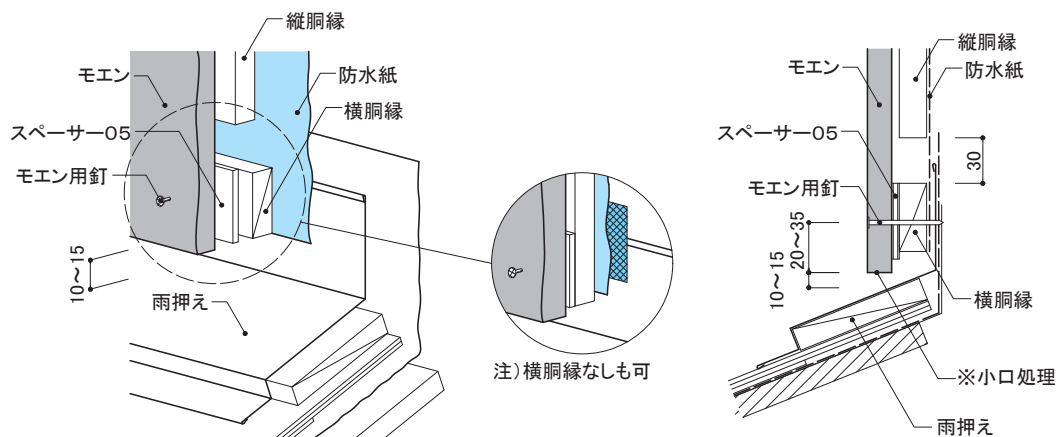
軒天

参考資料

13) 下屋根部

①棟側

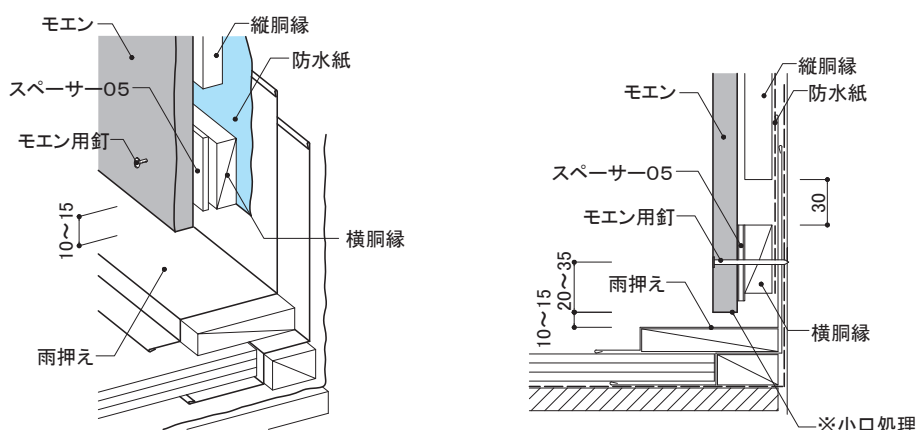
- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- 注)横胴縁なしの場合は、雨押えと防水紙を両面防水テープで密着させます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



13) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

2-2 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

縦張り

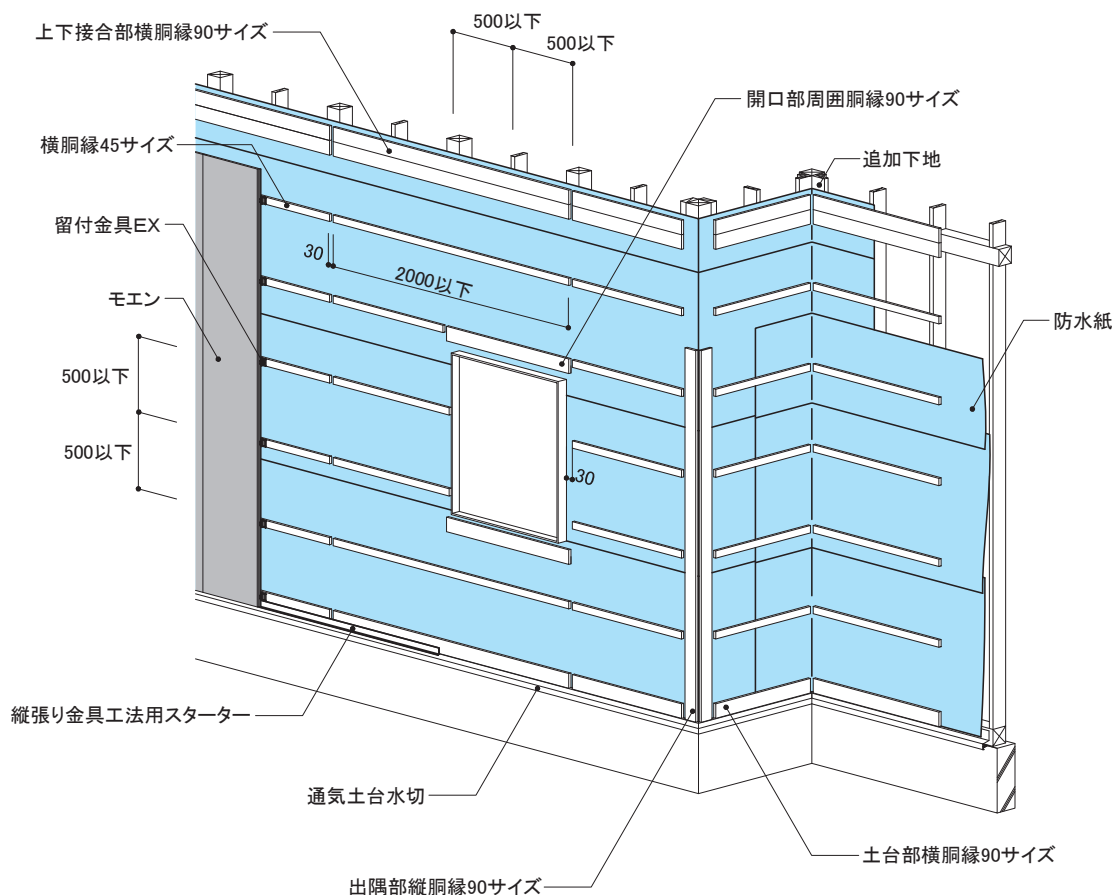
金具施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 入隅部や出隅部などで胴縁が躯体に留め付けられない場合は追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
- 下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。ただし、耐力面材がない場合は、厚み18mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、土台部、上下接合部、出隅部、開口部まわりなどの指定箇所には90mm以上を使用します。
- 木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3.8mm×50mm以上のビスを使用して500mm以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸(段差)が3mm以下となるように調整して施工します。
- 下地組みは、必ず通気ができるように2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 開口部まわりの横胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- 積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。(P34参照)

※モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分については専用補修液を塗布し、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

16mm厚品

1.5尺×10尺

下 地

留付方法

張り方向

木胴縁組

EX

木造軸組下地

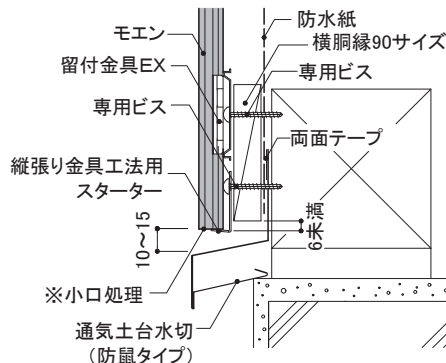
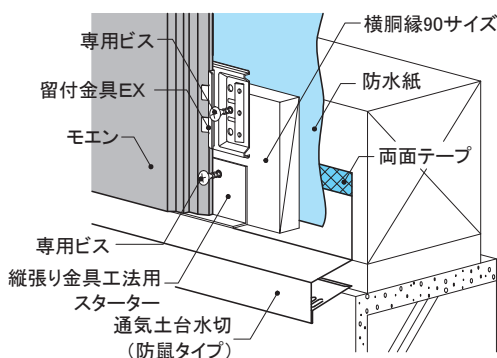
金具

縦

横胴縁
@500mm以下

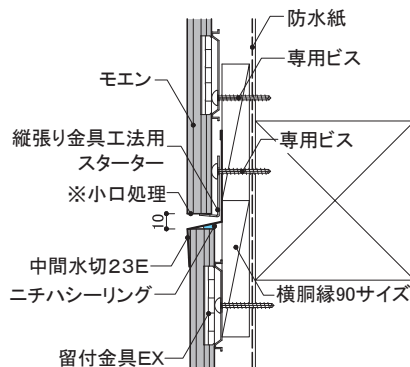
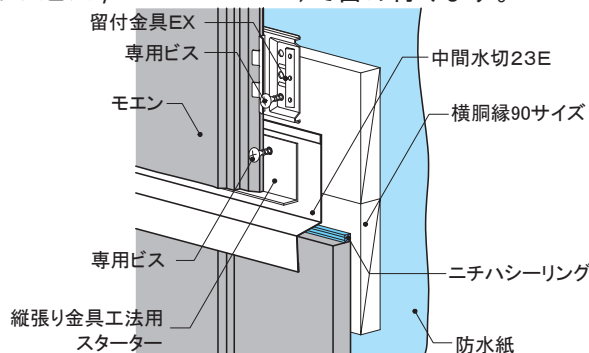
3) 土台部

- 通気土台水切は、土台に500mm以下の間隔でモエン用釘などを用いて水平に留め付けます。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。また、縦張り金具工法用スターターは土台部の横胴縁下端より6mm以上下げないでください。
- モエンは縦張り金具工法用スターターのすぐ上の位置で留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。



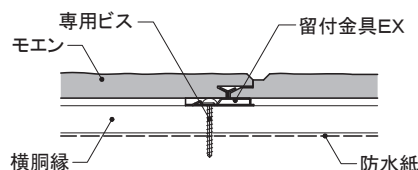
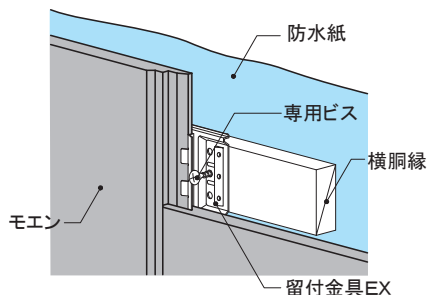
4) 上下接合部

- 中間水切23Eは横胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。
- 上段のモエンは縦張り金具工法用スターターのすぐ上の位置で留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。



5) 左右接合部

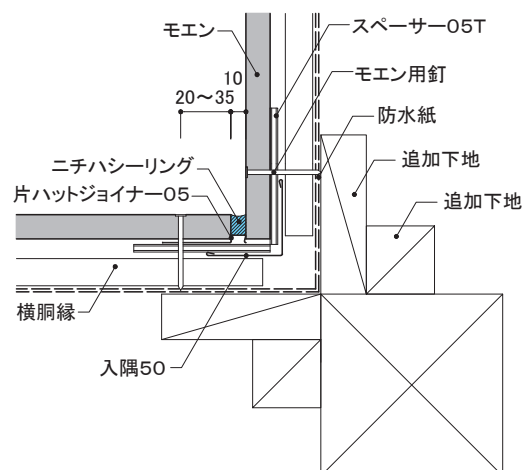
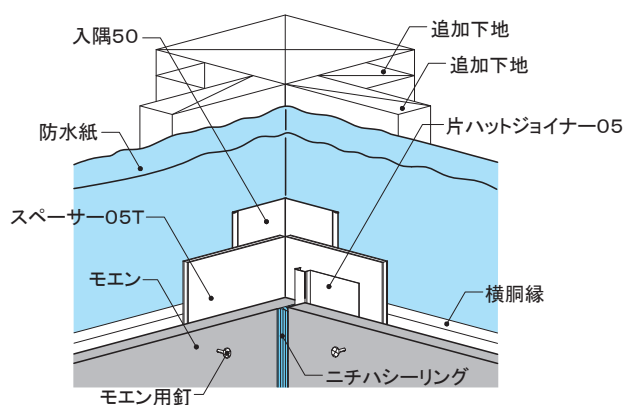
- 実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

6) 入隅部

- 入隅部は、胴縁の留付下地として必ず追加下地を入れます。
- 入隅50・スパーサー05Tを取り付け、先行のモエンを施工した後、片ハットジョイナー05を取り付けます。
- モエンは先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



7) 出隅部

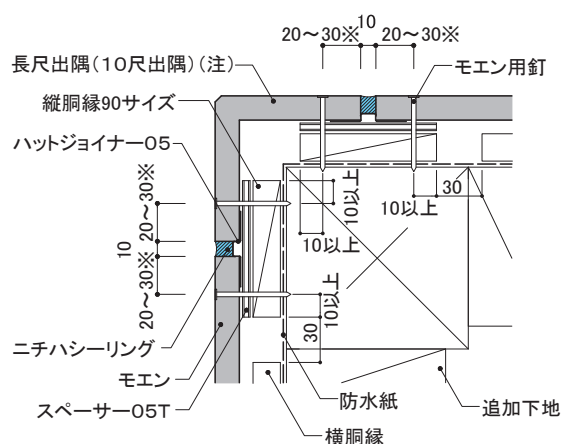
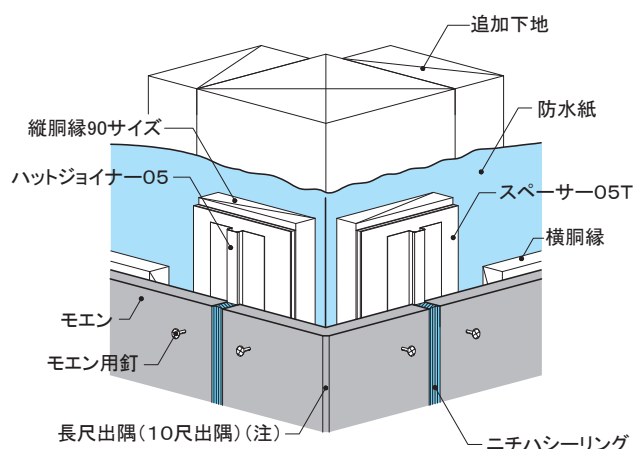
同質出隅

- モエン本体、長尺出隅(10尺出隅)はスペーサー05Tを取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。

※縦胴縁の端あきが10mm以上になるよう釘打ちします。

- 長尺出隅(10尺出隅)との取り合い部には、ハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。

注)長尺出隅使用時は釘打ち以外にも、専用金具での施工も可能です。詳細はP60をご参照ください。



図は内法80mmの同質出隅で表現しています。

釘頭

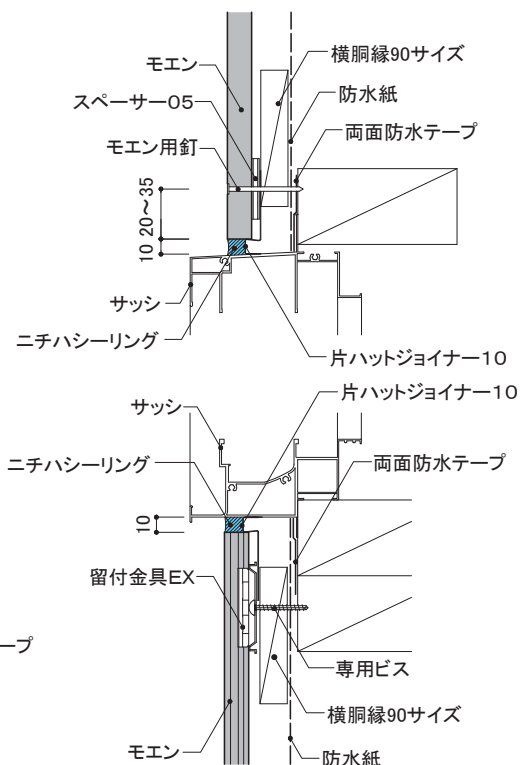
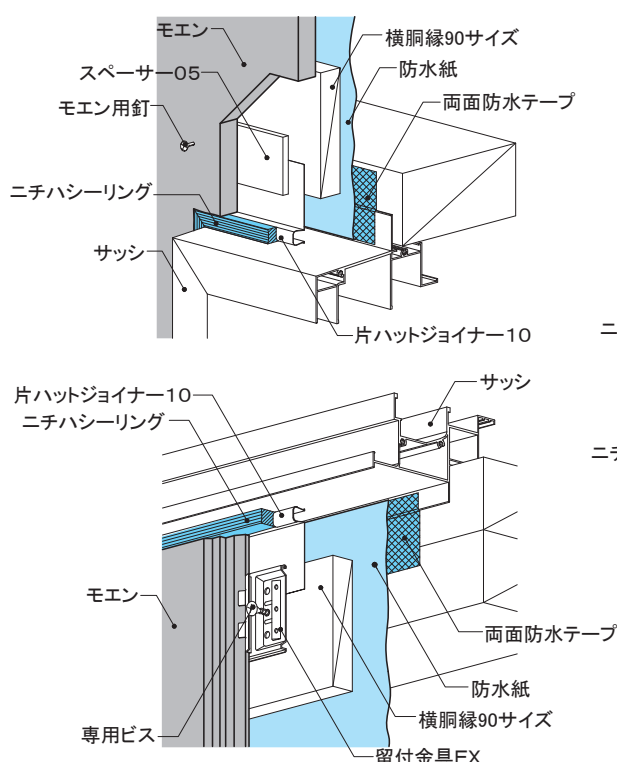
釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 EX	1.5尺×10尺	下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	金具	縦	横胴縁 @500mm以下

8) 開口部

① 上下側

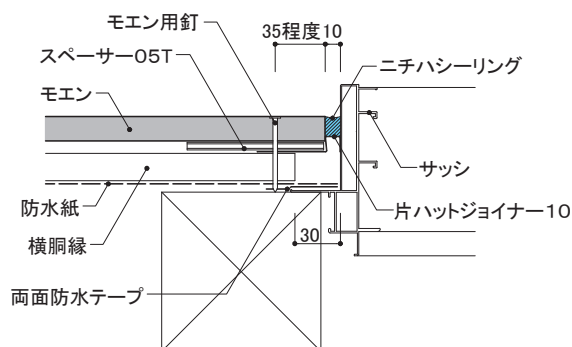
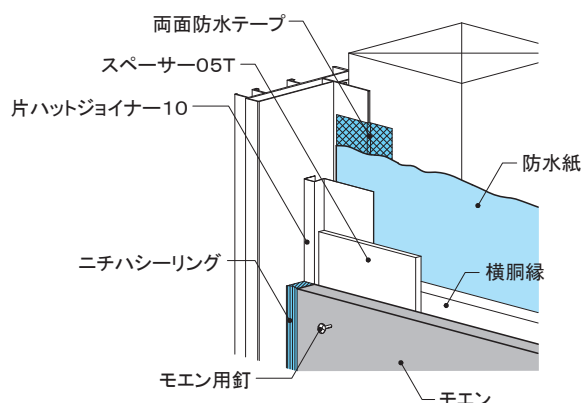
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部上側のモエンには縦張り金具工法用スターターおよび留付金具EXを使用せず、片ハットジョイナー10を取り付けます。モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- 開口部下側は、片ハットジョイナー10を取り付け、実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部左右は、片ハットジョイナー10を取り付け、スペーサー05Tを取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



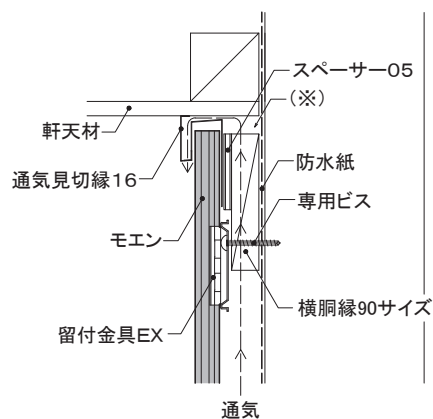
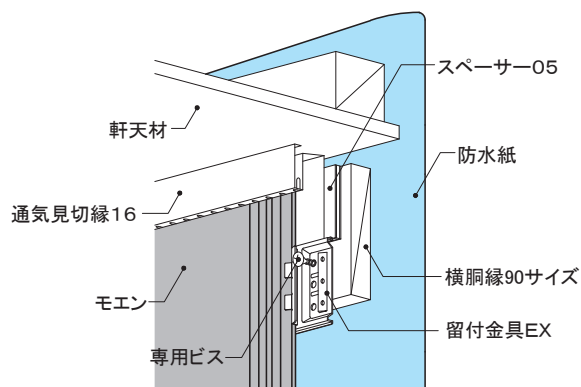
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	金具	縦	

9) 軒天部

①通気見切縁

- モエンの施工前にスペーサー05を取り付け、通気見切縁16を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。

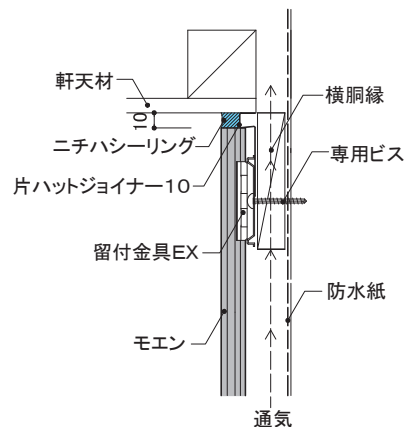
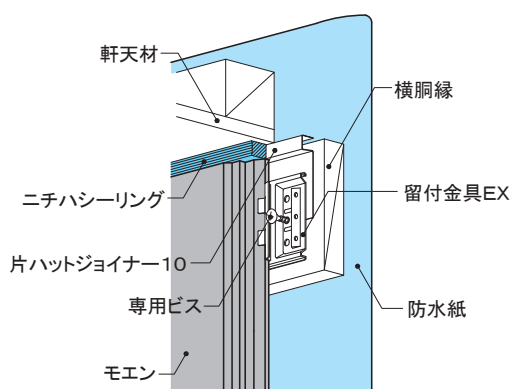


※通気がとれるよう、隙間を設けて施工してください。

9) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張り胴縁下地組みは軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、片ハットジョイナー10を取り付けます。
- モエンは実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。

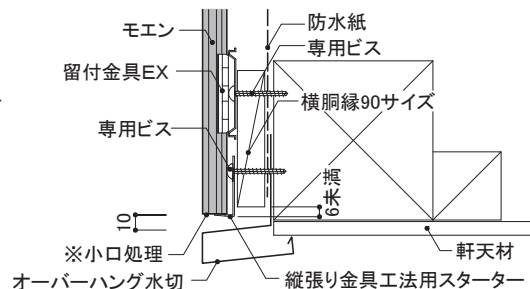
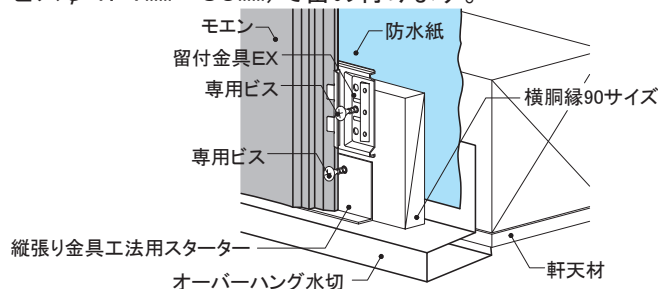


16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	金具	縦	横胴縁 @500mm以下

10) オーバーハング部

① オーバーハング水切

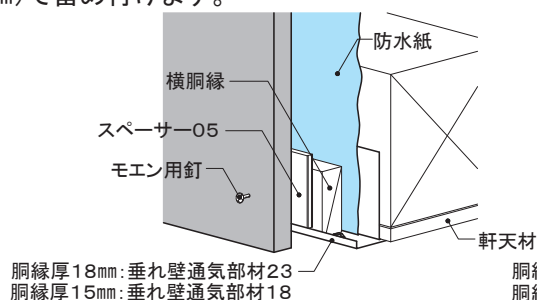
- 縦張り金具工法用スターターを胴縁に専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)を用いて250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。また、縦張り金具工法用スターターは横胴縁下端より6mm以上下げないでください。
- モエンは縦張り金具工法用スターターのすぐ上の位置で留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。



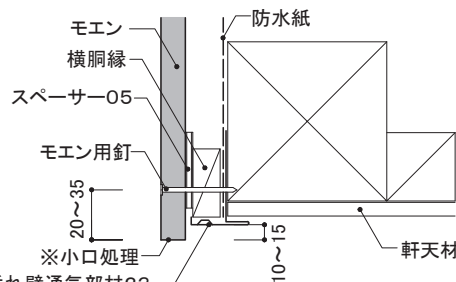
10) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

- 横胴縁の厚みが18mmの場合は「垂れ壁通気部材23」を、横胴縁の厚みが15mmの場合は「垂れ壁通気部材18」を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材の上にかぶせて施工します。
- モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



胴縁厚18mm: 垂れ壁通気部材23
胴縁厚15mm: 垂れ壁通気部材18

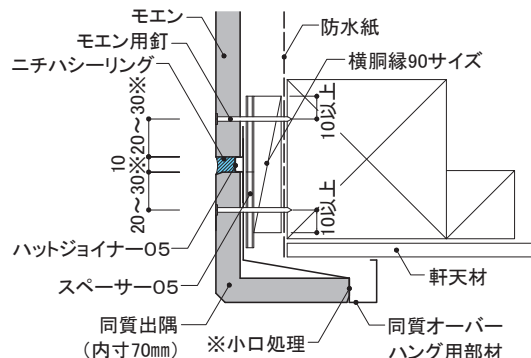
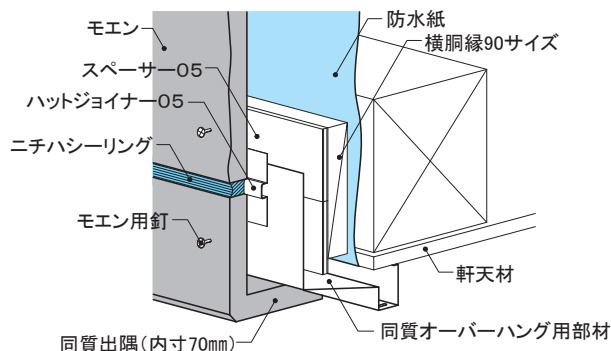


胴縁厚18mm: 垂れ壁通気部材23
胴縁厚15mm: 垂れ壁通気部材18

10) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- モエン本体、同質出隅はスペーサー05・同質オーバーハング用部材・ハットジョイナー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- ※横胴縁の端あきが10mm以上になるよう釘打ちします。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

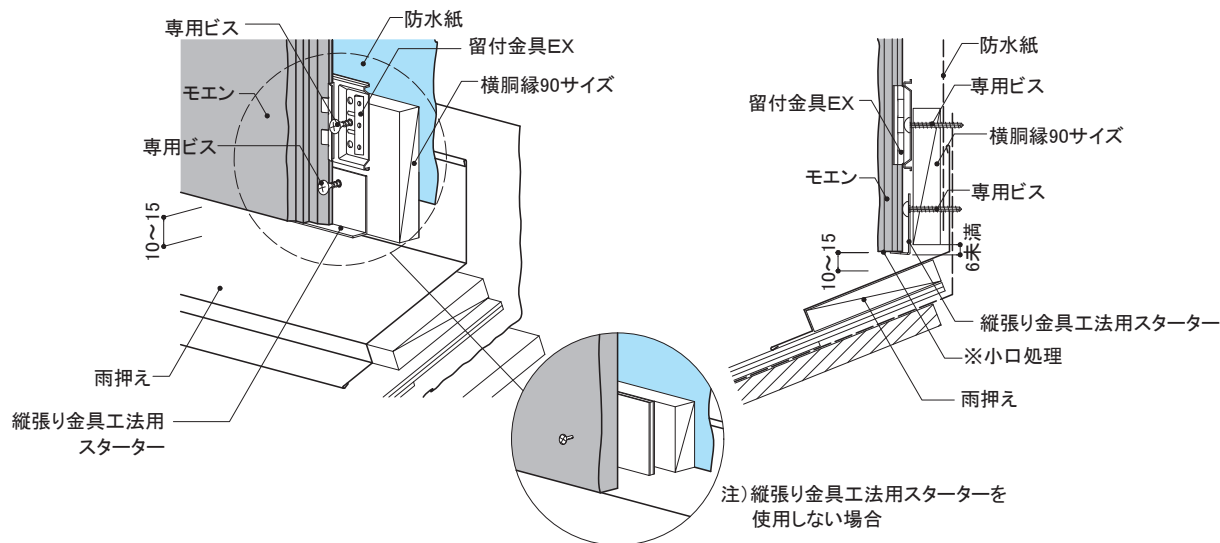
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	金具	縦	

11) 下屋根部

①棟側

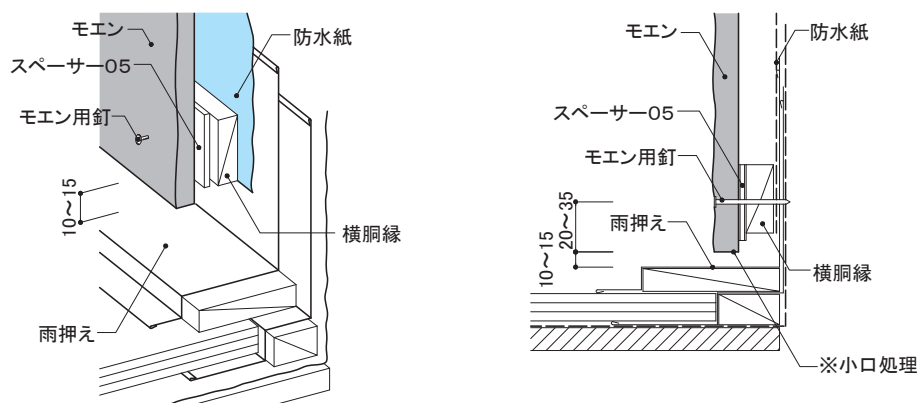
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×35mm)を用いて胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。また、縦張り金具工法用スターターは横胴縁下端より6mm以上下げないでください。
 - モエンは縦張り金具工法用スターターのすぐ上の位置で留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×35mm)で留め付けます。
 - モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- 注)縦張り金具工法用スターターを使用しない場合は、モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ2. 75mm×50mm)で留め付けます。



11) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ2. 75mm×50mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

2-3 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

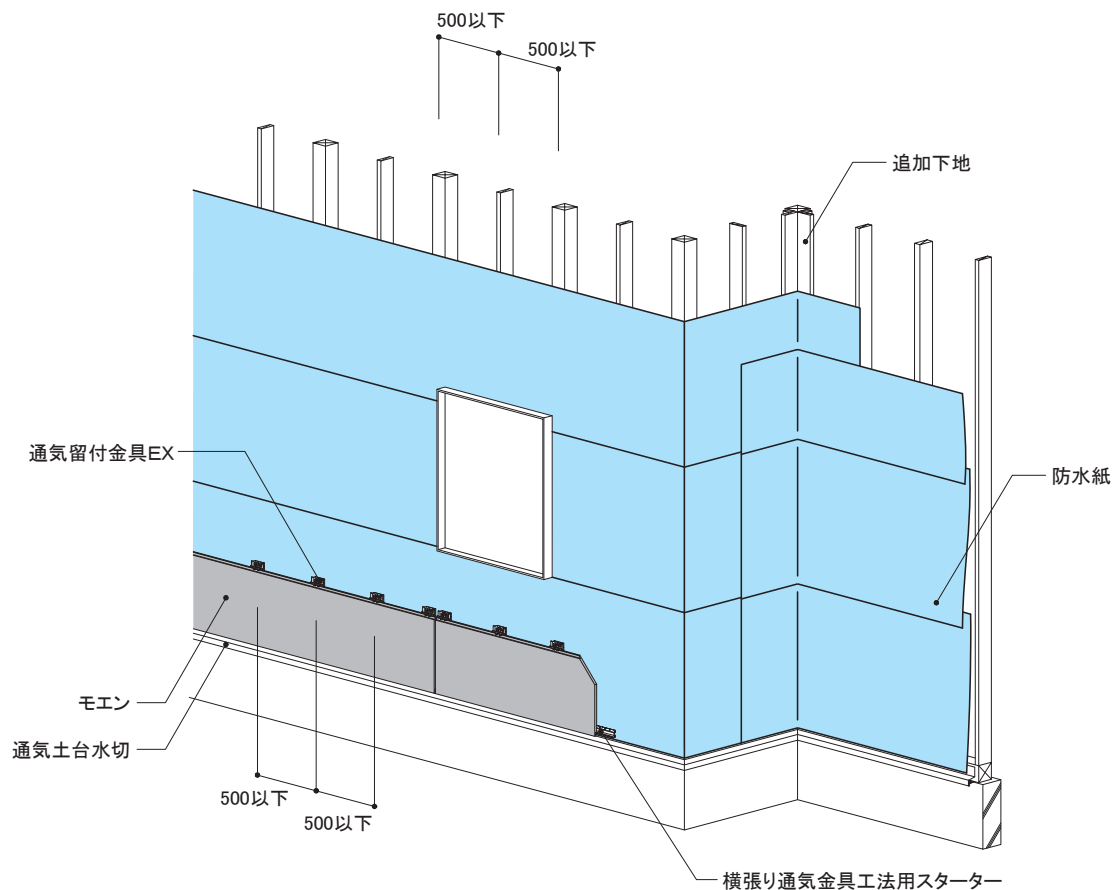
横張り

通気金具施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気留付金具EXを留め付ける柱・間柱は、500mm以下の間隔となるように確認・調整します。
- 入隅部は金具類の留付下地として、必ず追加下地を設けます。
- 横張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、500mm以下の間隔で留め付けます。
- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 通気留付金具EXは専用ビスで留め付けます。
- 開口部上下やオーバーハング部などモエンを釘留めする際は、
スペーサー15を使用する場合、モエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)を、
木胴縁15mmを使用する場合、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)を用いて留め付けます。



16~21mm厚品 1.5尺×6尺

EX

下地

木造軸組下地

留付方法

通気金具

張り方向

横

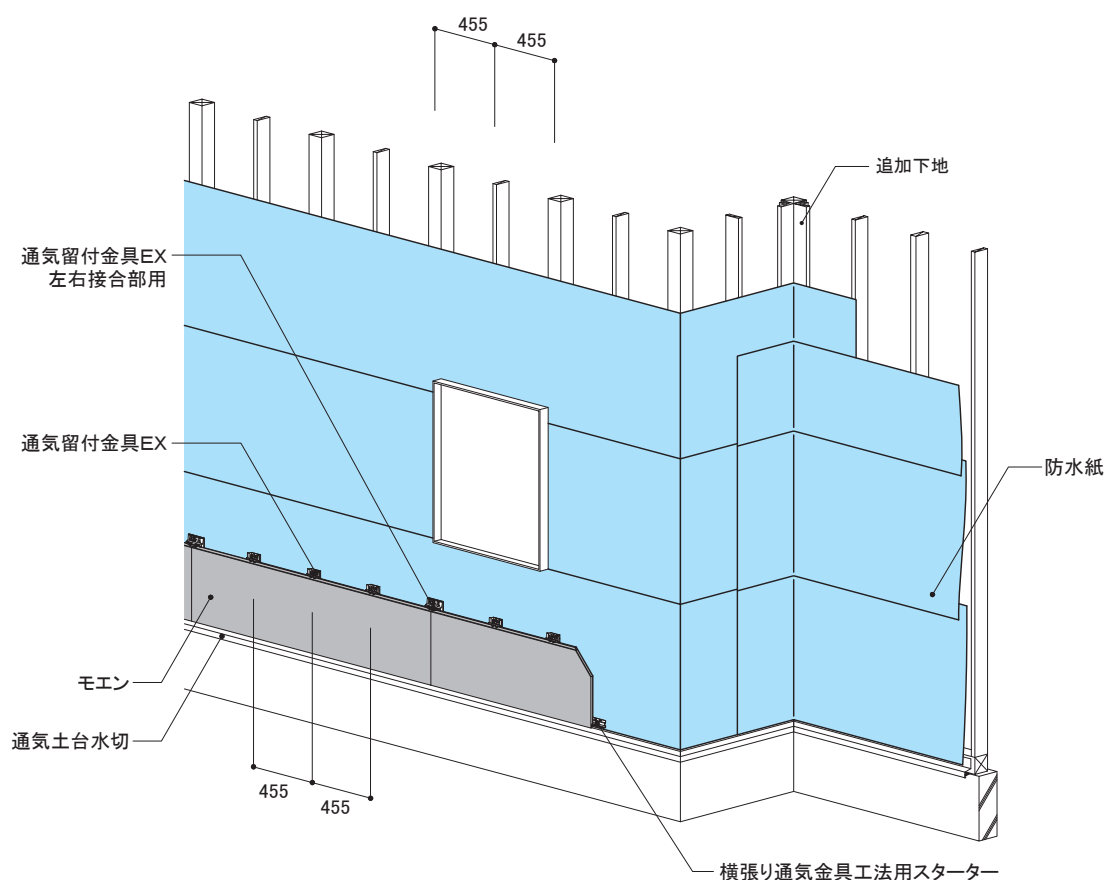
木胴縁組

なし

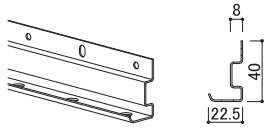
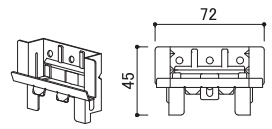
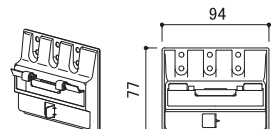
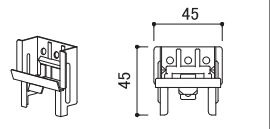
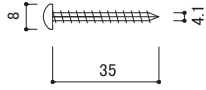
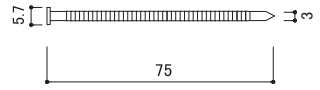
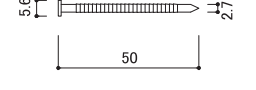
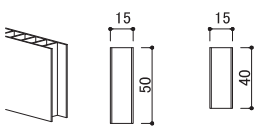
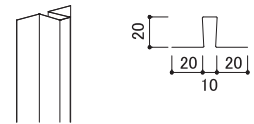
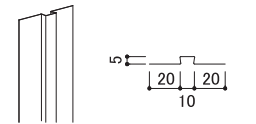
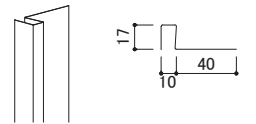
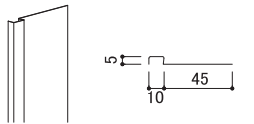
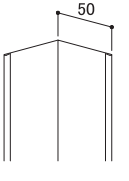
3) 基本構成図・下地組図

1.5尺×6尺

- 通気留付金具EXを留め付ける柱・間柱は、455mmの間隔となるように確認・調整します。
- 入隅部は金具類の留付下地として、必ず追加下地を設けます。
- 横張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、500mm以下の間隔で留め付けます。
- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 通気留付金具EXは専用ビスで留め付けます。
- 開口部上下やオーバーハング部などモエンを釘留めする際は、
スペーサー15を使用する場合、モエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)を、
木胴縁15mmを使用する場合、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)を用いて留め付けます。



16～21mm厚品 (EX)	1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	通気金具	横	なし

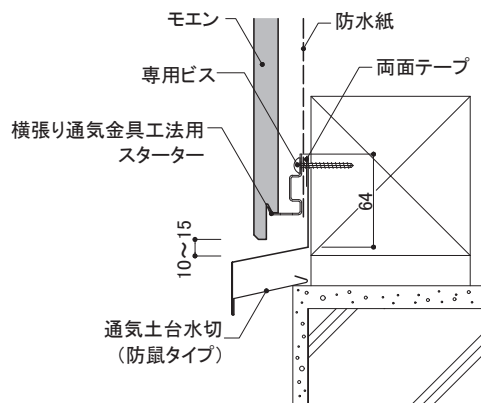
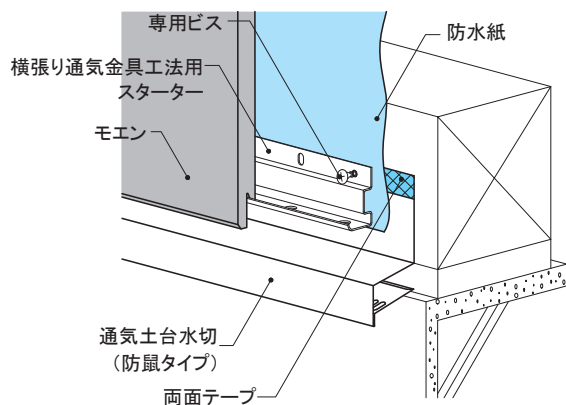
4) 主要部材一覧表		1.5尺×6尺			
■スターター  横張り通気金具工法用スターター-A 【品番:FA850A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:1.0mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:500mm以下	■一般部金具  横張り用通気留付金具EX (エクセラード用) 【品番:JE825】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける	■左右接合部金具  横張り用通気留付金具EX (エクセラード用) 【品番:JEJ835】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビス2本で留め付ける	■出隅部金具  横張り用通気留付金具EX出隅用 (エクセラード用) 【品番:JE825C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける		
■専用ビス (スターター・金具留付用)  通気留付金具EX専用ビス 【品番:JK1151】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×35mm	■専用釘 (モエン表面留め用)  モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW850Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ3mm×75mm 備考:スペーサーを使用する場合	■専用釘 (エクセラード表面留め用)  モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm 備考:木胴縁を使用する場合	■スペーサー  スペーサー15 【品番:FS1015】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー15(ピースタイプ) 【品番:FSP1015】 サイズ:40×40×15mm 材質:ポリプロピレン		
■ハットジョイナー  ハットジョイナー20 【品番:FH1020R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアーレッド着色	■ハットジョイナー  ハットジョイナー05 【品番:FH1005R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー17 【品番:FHK1117R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー05 【品番:FHK1105R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色		
■入隅50  入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm					

※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

16~21mm厚品 EX S	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	通気金具	横	なし

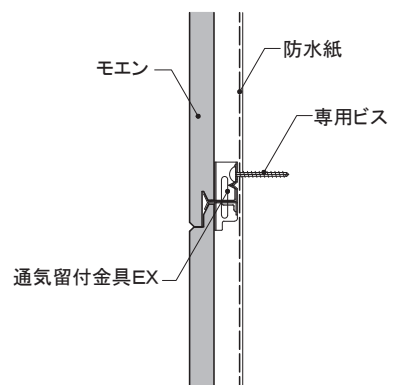
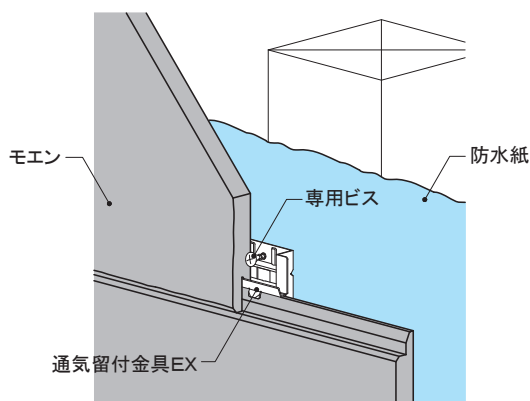
5) 土台部

- 通気土台水切は、土台に500mm以下の間隔でモエン用釘などを用いて水平に取り付けます。
- 横張り通気金具工法用スターターは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)を用い、土台に500mm以下の間隔で留め付けます。釘打ちは厳禁です。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10~15mmの隙間を設けます。



6) 上下接合部

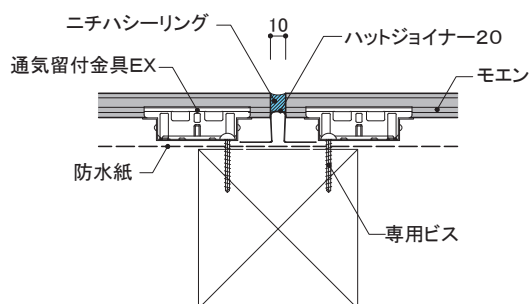
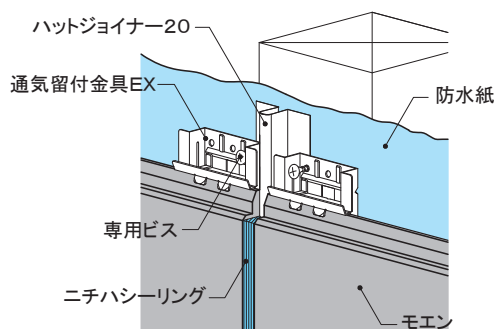
- 実に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。



7) 左右接合部

① 1.5尺×10尺

- 左右接合部には、ハットジョイナー20を取り付けます。
- 実に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



16~21mm厚品 1.5尺×6尺

EX

下 地
木造軸組下地留付方法
通気金具張り方向
横木胴縁組
なしモエン
標準施工法納まり詳細図
木造鉄骨造
納まり詳細図外張り
断熱工法

アウティ

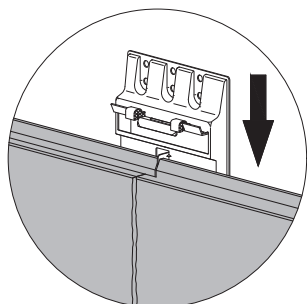
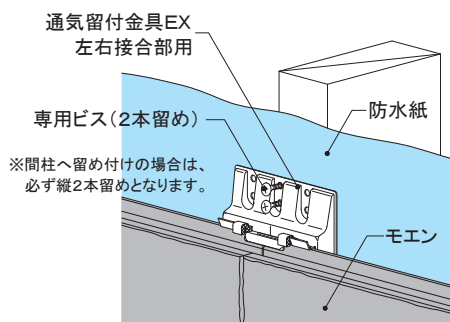
軒天

参考資料

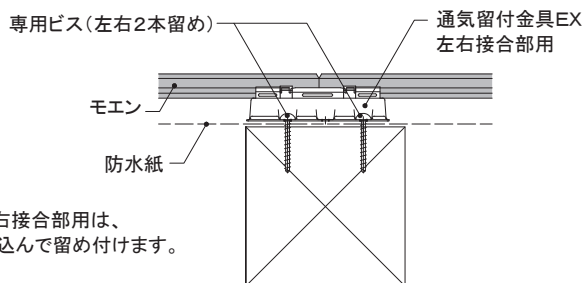
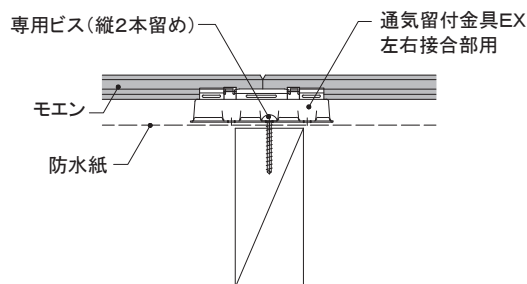
7) 左右接合部

② 1.5尺×6尺

- 四方合いじゃくり品の左右接合部には、通気留付金具EX左右接合部用を使用し、合いじゃくり部を確実に納め専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)2本で留め付けます。



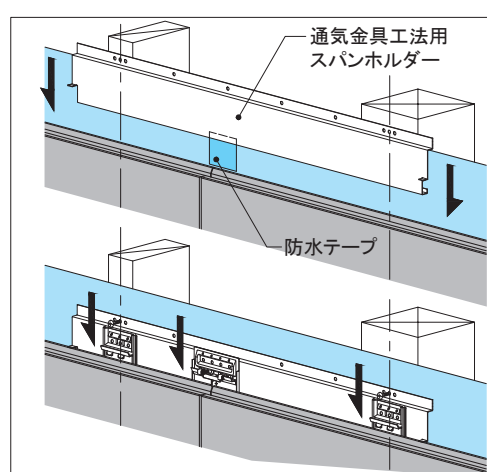
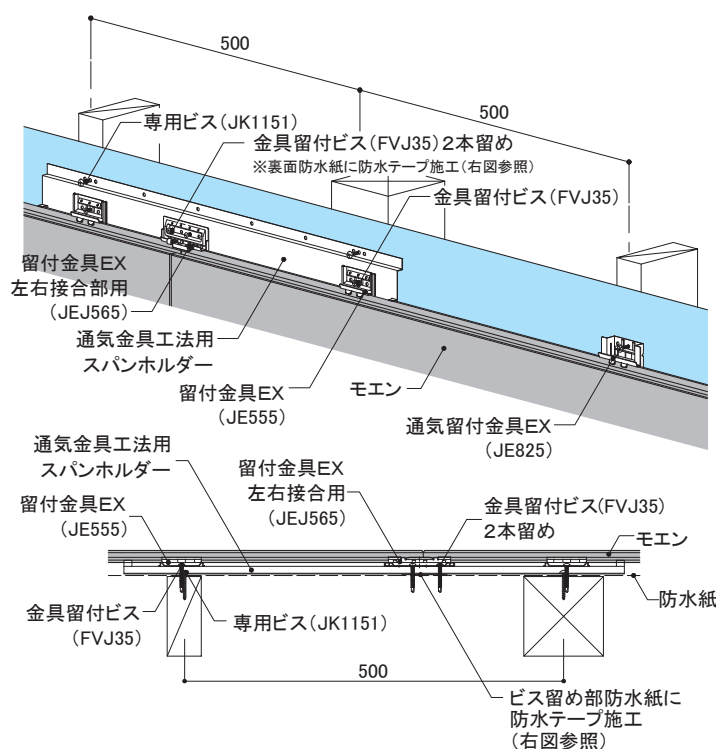
※通気留付金具EX左右接合部用は、
実の間に上から差し込んで留め付けます。



7) 左右接合部

③ 1.5尺×6尺(メーターモジュールなど)

- メーターモジュール(または間くずれなど)の四方合いじゃくり品左右接合部には、通気金具工法用スパンホルダーを通気層に施工し(専用ビスJK1151:φ4.1mm×35mm)、合いじゃくり部および両側の柱部分に留付金具EXを確実に納め留め付けます。(金具留付ビスFVJ35:φ4.2mm×35mm)
(通気金具工法用スパンホルダーの施工方法は、P57をご参照ください。)



- あらかじめ、左右接合部のビス留め部裏面の防水紙に片面防水テープ(ブチル系)を施工します。
- 通気金具工法用スパンホルダーを通気層に差し込み、躯体に留め付けます。(専用ビス:JK1151)
- 通気金具工法用スパンホルダーの上から、留付金具EX左右接合部用(JEJ565)を実の間に差し込んで、スパンホルダーに留め付けます。(金具留付ビス:FVJ35、2本留め)
- 順次、留付金具EX(JE555)をスパンホルダーをかいして躯体に留め付けます。(金具留付ビス:FVJ35)

16~21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

EX S

下 地

木造軸組下地

留付方法

通気金具

張り方向

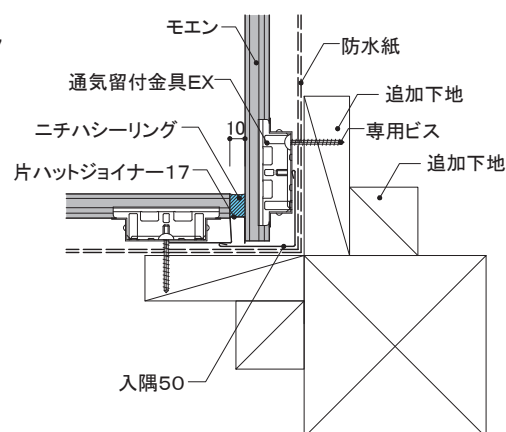
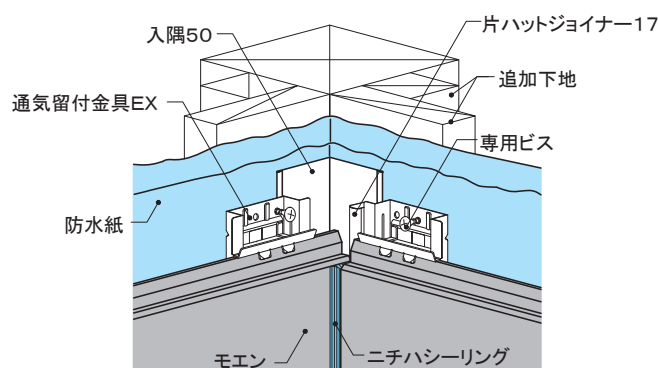
横

木胴縁組

なし

8) 入隅部

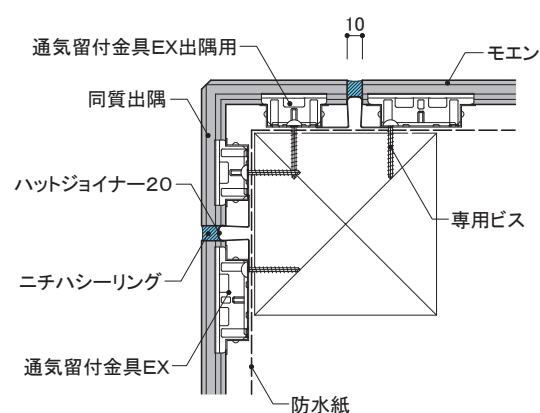
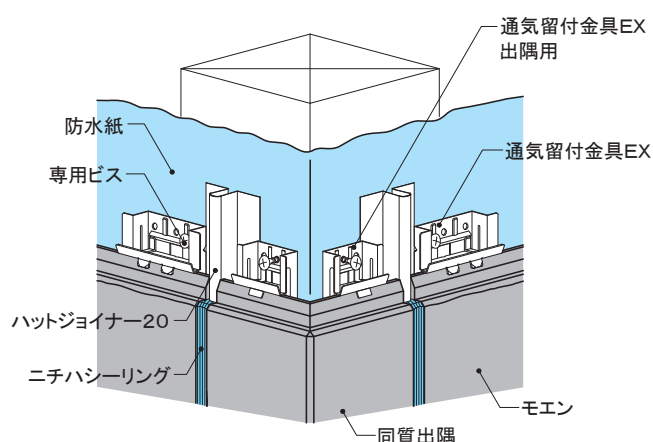
- 入隅部は、金具類の留付下地として必ず追加下地を入れます。
- 入隅50を取り付けた後、先行のモエンを施工し、片ハットジョイナー17を取り付けます。
- 実際に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



9) 出隅部

同質出隅

- 同質出隅は、通気留付金具EX出隅用で留め付けます。
- 実際に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー20を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内法80mmの同質出隅で表現しています。

16～21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

(EX)

(S)

下 地
木造軸組下地

留付方法
通気金具

張り方向
横

木胴縁組
なし

モエン
標準施工法

納まり詳細図

鉄骨造
納まり詳細図

外張り
断熱工法

アウティ

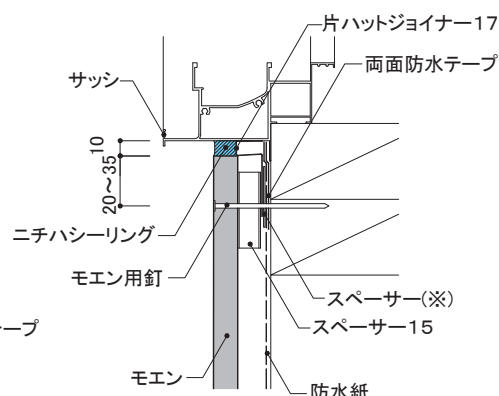
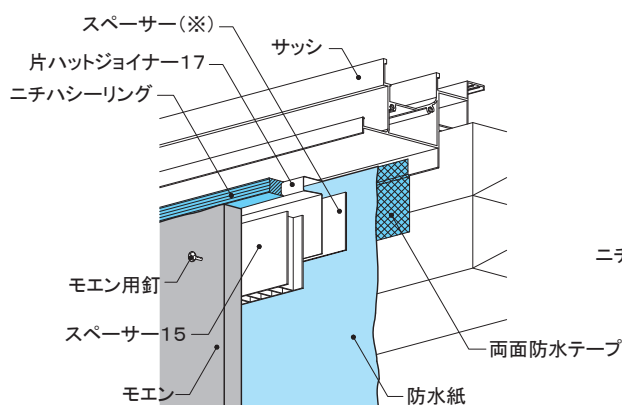
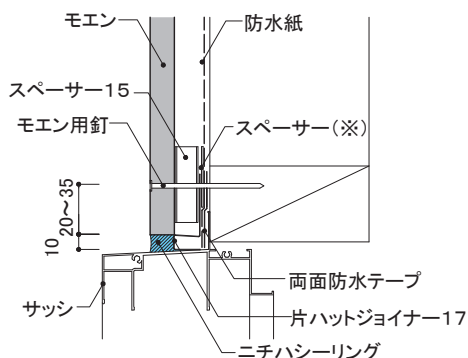
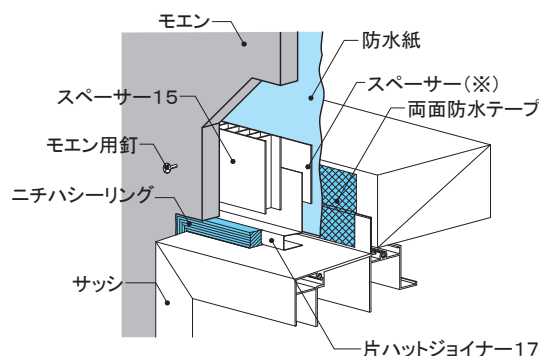
軒天

参考資料

10) 開口部

① 上下側

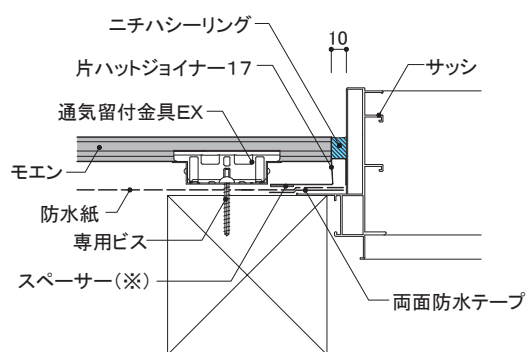
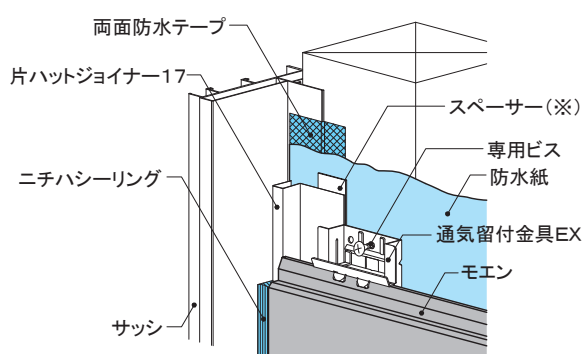
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部上側・下側は片ハットジョイナー17、スペーサー15の順に取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



10) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部左右は、片ハットジョイナー17を取り付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
- 実に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



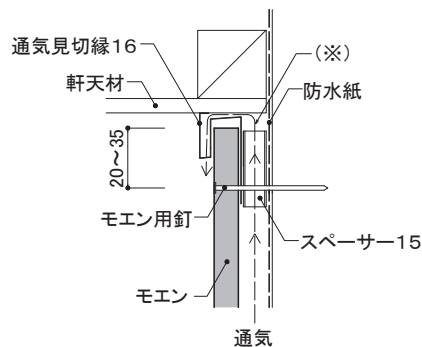
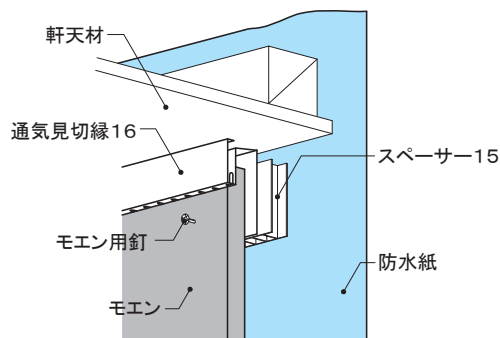
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16~21mm厚品 1.5尺×10尺 1.5尺×6尺 (EX) (S)	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
	木造軸組下地	通気金具	横	なし

11) 軒天部

①通気見切縁

- モエンの施工前にスペーサー15を取り付け、通気見切縁16(18mm厚以上品の場合は、通気見切縁21)を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。

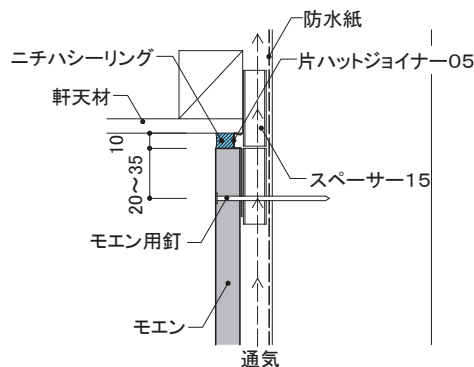
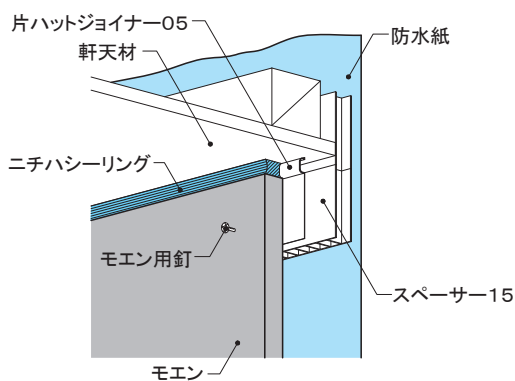


※通気がとれるよう、隙間を設けて施工してください。

11) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りとスペーサー15の取り付けは軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、スペーサー15を取り付けた後、その上に片ハットジョイナー05を取り付けます。
- モエンは先孔をあけてから、モエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16～21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

(EX) (S)

下 地
木造軸組下地

留付方法
通気金具

張り方向
横

木胴縁組
なし

モエン
標準施工法

納まり詳細図

鉄骨造
納まり詳細図

外張り
断熱工法

アウティ

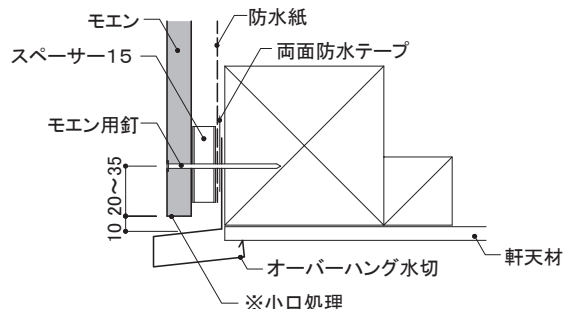
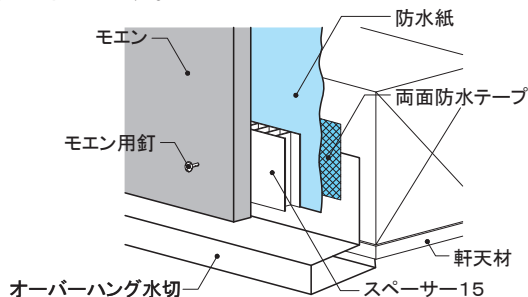
軒天

参考資料

12) オーバーハング部

① オーバーハング水切

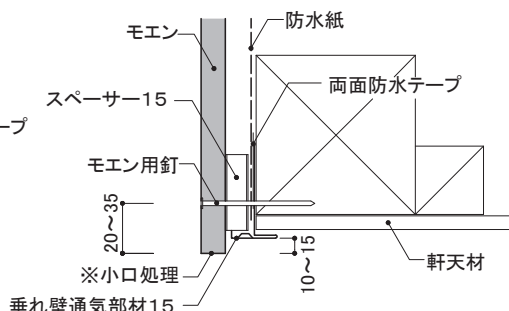
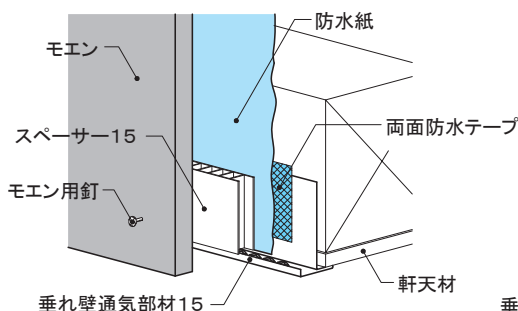
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。



12) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

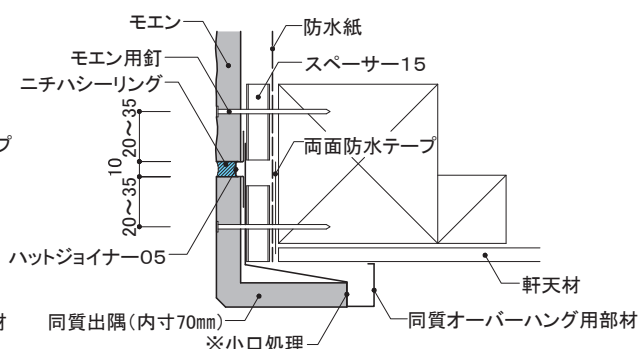
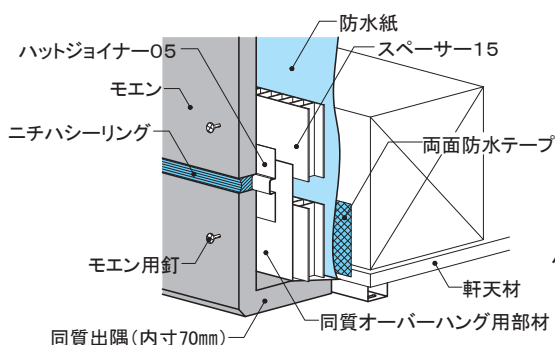
- 垂れ壁仕様にする場合は、必ず垂れ壁通気部材15を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材15の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。



12) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- 防水紙を両面防水テープで貼り付けます。
- モエン本体、同質出隅はスペーサー15、同質オーバーハング用部材、ハットジョイナー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16～21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺
(EX) (S)

下 地
木造軸組下地

留付方法
通気金具

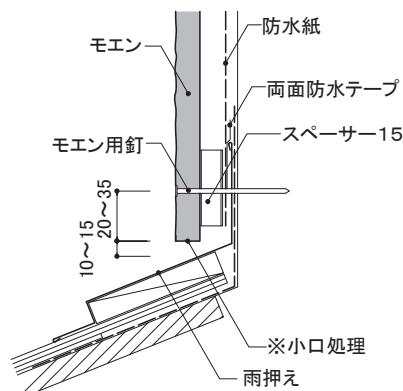
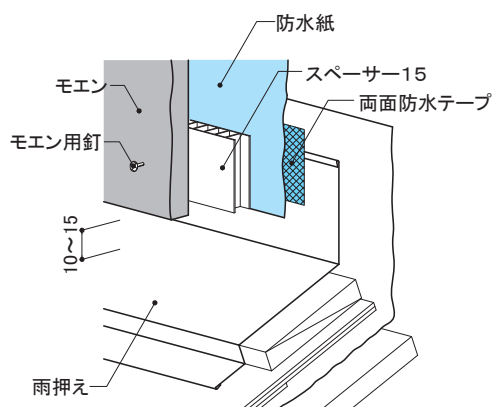
張り方向
横

木胴縁組
なし

13) 下屋根部

①棟側

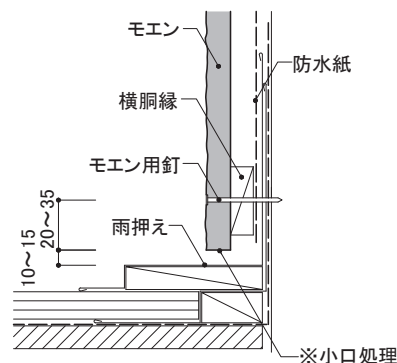
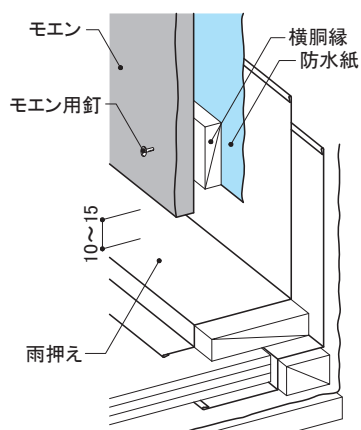
- 防水紙は雨押えの上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘 $\phi 3\text{mm} \times 75\text{mm}$)で留め付けます。



13) 下屋根部

②流れ側

- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンは横胴縁を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘 $\phi 2.75\text{mm} \times 50\text{mm}$)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

2-4 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

縦張り

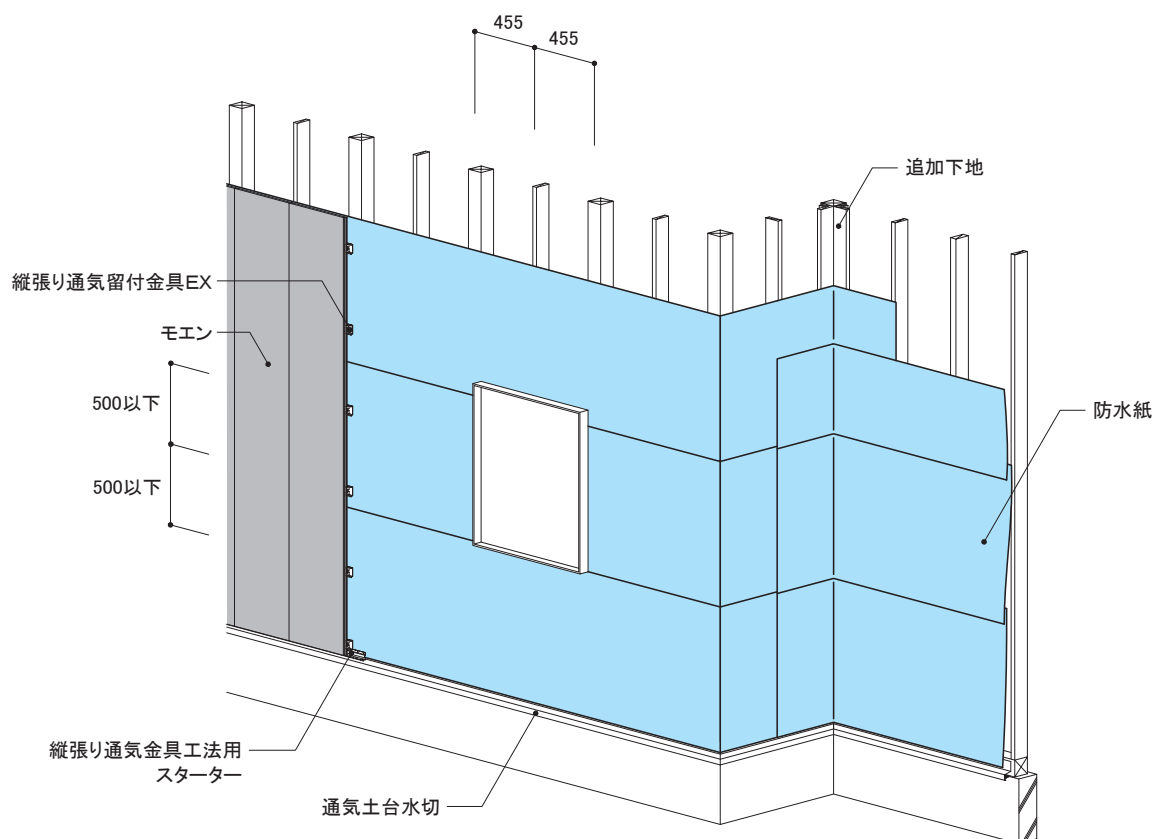
通気金具施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

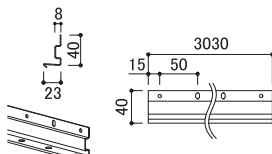
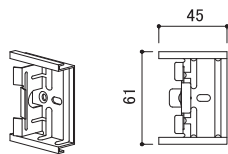
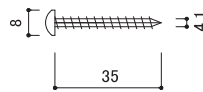
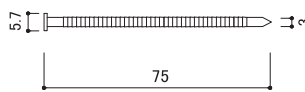
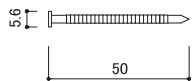
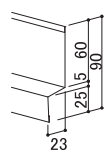
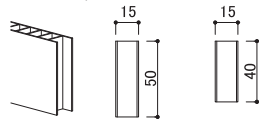
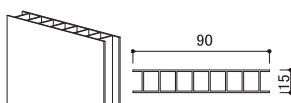
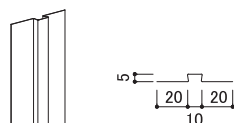
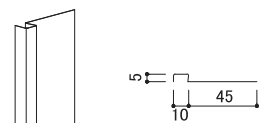
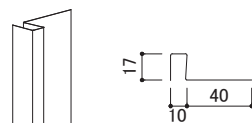
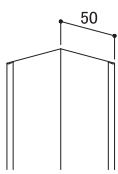
- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 縦張り通気留付金具EXを留め付ける柱・間柱は、455mm間隔となるように、確認・調整します。
- 縦張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、250mm以下の間隔で留め付けます。
- 縦張り通気留付金具EXは専用ビスを使用し、500mm以下の間隔で留め付けます。
- 出入隅や開口部左右などモエンを釘留めする際は、
スペーサー15を使用する場合、モエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)を、
木胴縁15mmを使用する場合、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)を用いて留め付けます。

※モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し、乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を塗布し、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

16mm厚品 EX	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	通気金具	縦	なし

2) 主要部材一覧表							
■スターター(土台部)  縦張り通気金具工法用スターター 【品番:FA750T】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:1.0mm 長さ:3,030mm ビス留めピッチ:250mm以下 備考:専用ビスで留め付ける	■一般部金具  縦張り用通気留付金具EX (16mm厚品用通気金具) 【品番:JE715】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで丸穴に留め付ける	■専用ビス (スターター・金具留付用)  通気留付金具EX専用ビス 【品番:JK1151】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×35mm	■専用釘 (エクセラード表面留め用)  モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW850Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ3mm×75mm 備考:スペーサーを使用する場合				
■専用釘 (エクセラード表面留め用)  モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm 備考:木胴縁を使用する場合	■水切(中間部)  中間水切23E 【品番:FTA****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm	■スターター(中間部)  縦張り金具工法用スターター 【品番:FA350T】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:1.0mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:250mm以下	■スペーサー  スペーサー15 【品番:FS1015】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー15(ピースタイプ) 【品番:FSP1015】 サイズ:40×40×15mm 材質:ポリプロピレン				
■スペーサー  スペーサー15T 【品番:FS1015T】 材質:ポリプロピレン 長さ:2,000mm	■ハットジョイナー  ハットジョイナー05 【品番:FH1005R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー05 【品番:FHK1105R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー17 【品番:FHK1117R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色				
■入隅50  入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm							

※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

16mm厚品

1.5尺×10尺

下 地

留付方法

張り方向

木胴縁組

EX

木造軸組下地

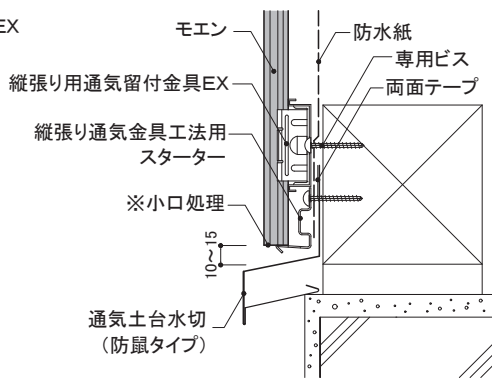
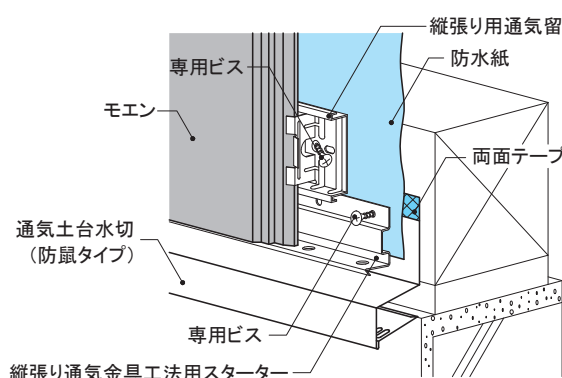
通気金具

縦

なし

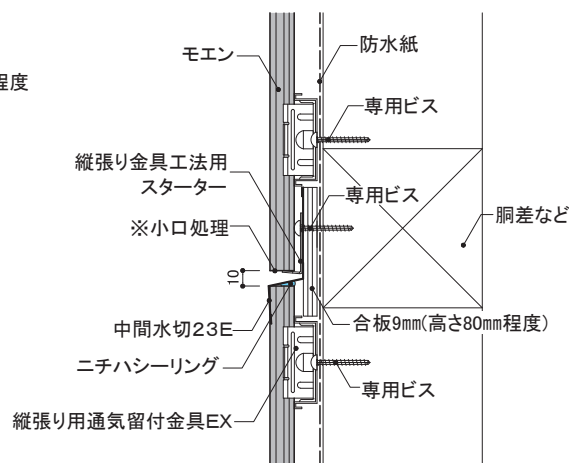
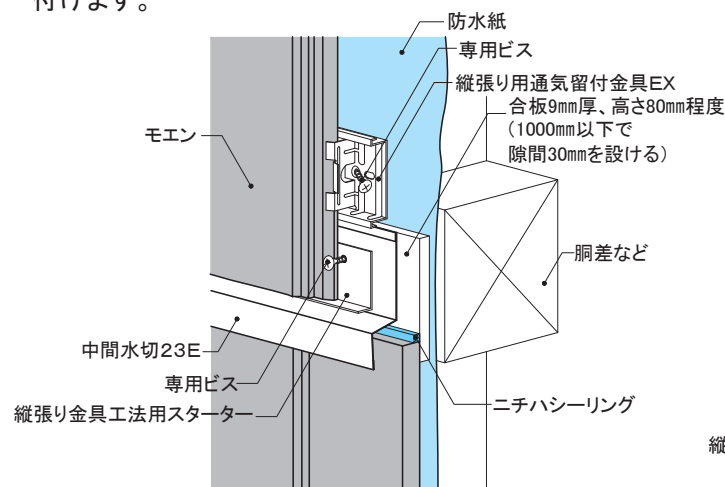
3) 土台部

- 縦張り通気金具工法用スターターは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)を用いて250mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り用通気留付金具EXは、縦張り通気金具工法用スターターのすぐ上の位置で確実にモエンの実に差し込み、必ず土台または柱・間柱の躯体に専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm、金具の丸穴に斜め打ち)で留め付けます。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。
- アルミ通気土台水切の場合、アルミ通気土台水切腰部と縦張り通気金具工法用スターターの間に3mm程度の隙間を設けます。また、モエン下端とアルミ通気土台水切の隙間は20mm程度となります。



4) 上下接合部

- 合板9mm厚(高さ80mm程度)を、胴差などに1000mm以下で30mmの隙間を設けて留め付けます。
- 中間水切23Eを合板の上に留め付け、縦張り金具工法用スターターを専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)を用いて、250mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り用通気留付金具EXは、縦張り金具工法用スターターのすぐ上の位置で確実にモエンの実に差し込み、必ず胴差または柱・間柱に専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm、金具の丸穴に斜め打ち)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

モエン
標準施工法

納まり詳細図

鉄骨造
断熱工法外張り
断熱工法

アウティ

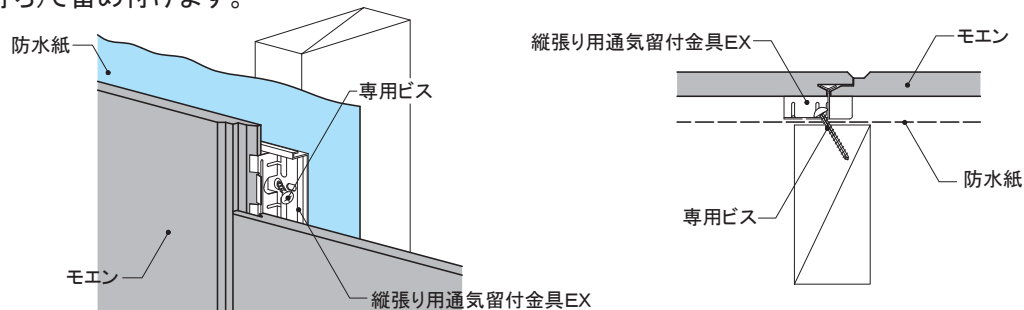
軒天

参考資料

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	通気金具	縦	なし

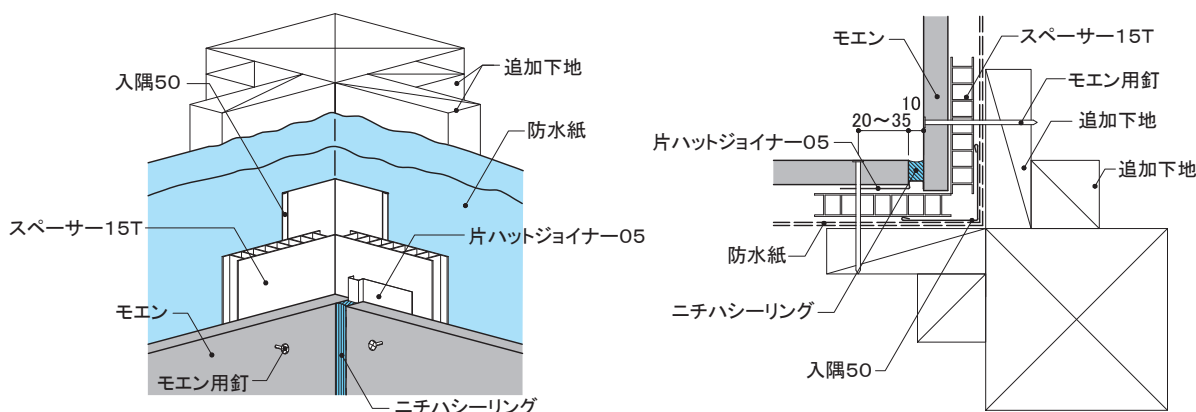
5) 左右接合部

- 実に縦張り用通気留付金具EXを納め、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm、金具の丸穴に斜め打ち)で留め付けます。



6) 入隅部

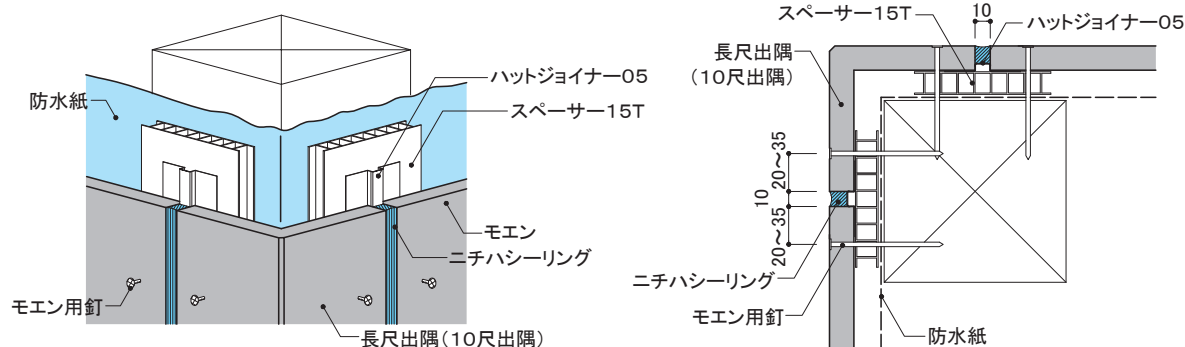
- 入隅部は、金具類の留付下地として必ず追加下地を入れます。
- 入隅50・スペーサー15Tを取り付けた後、先行のモエンを施工し、片ハットジョイナー05を取り付けます。
- モエンは、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



7) 出隅部

同質出隅

- モエン本体、長尺出隅(10尺出隅)はスペーサー15Tを取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
- 長尺出隅(10尺出隅)との取り合い部にはハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品

1.5尺×10尺

下 地

留付方法

張り方向

木胴縁組

(EX)

木造軸組下地

通気金具

縦

なし

モエン
標準施工法

納まり詳細図

鉄骨造
納まり詳細図外張り
断熱工法

アウティ

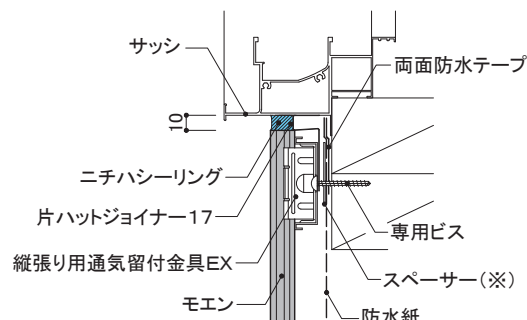
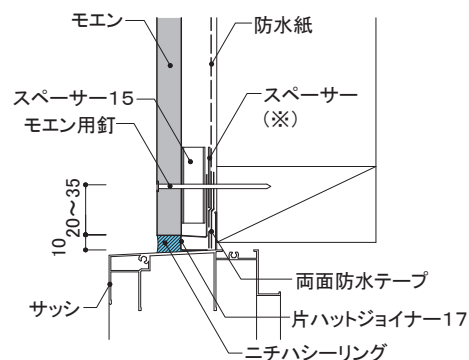
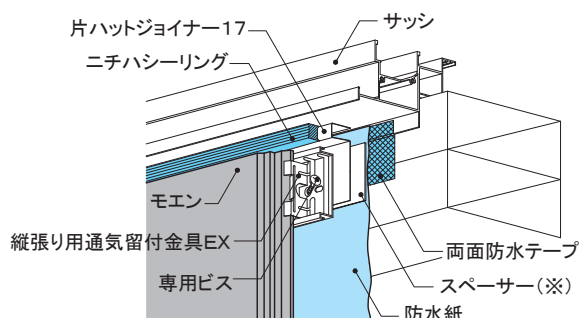
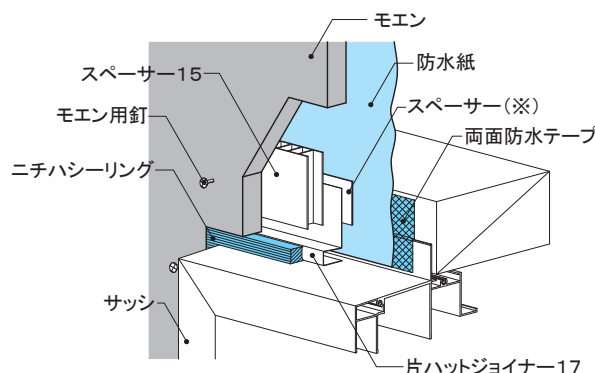
軒天

参考資料

8) 開口部

① 上下側

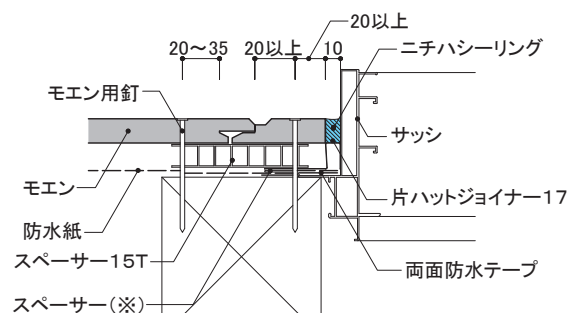
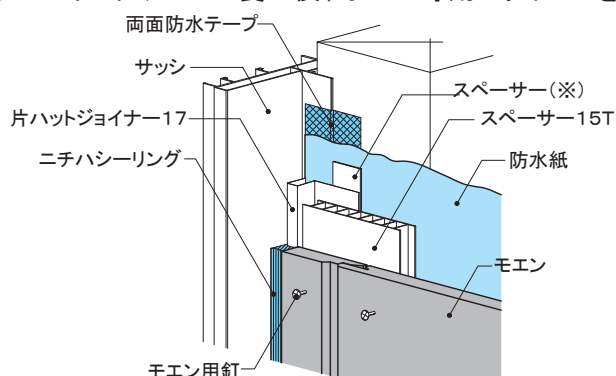
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部上側は片ハットジョイナー17、スペーサー15の順に取り付けた後、先孔をあけモエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
- 開口部下側は片ハットジョイナー17を取り付け、実に縦張り用通気留付金具EXを確実に納めて専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm、金具の丸穴に斜め打ち)で留め付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
(注) 事前に躯体モジュールを確認し、必ず躯体(窓台・柱・間柱・スタッドなど)に留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

② 左右側

- ※910mmモジュールでは、芯合わせの割り付けとなるため、開口部左右で小幅材の割り付けとなる場合があります。
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
 - 開口部左右のモエンは、片ハットジョイナー17を取り付け後、スペーサー15Tを取り付け、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
 - マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



釘頭

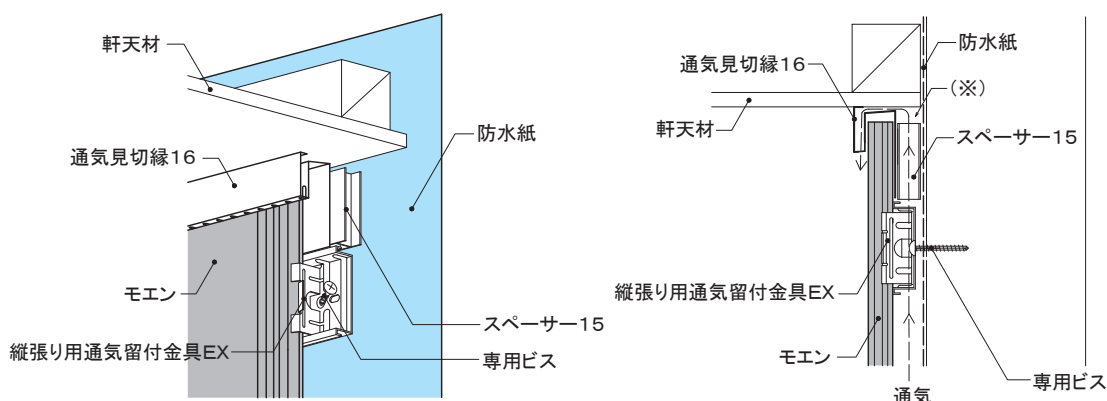
釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	通気金具	縦	なし

9) 軒天部

①通気見切縁

- モエンの施工前にスペーサー15を取り付け、通気見切縁16を図の位置に取り付けます。
 - モエンは通気見切縁16に差し込み、実に縦張り用通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×35mm、金具の丸穴に斜め打ち)で留め付けます。
- 注) 事前に躯体モジュールを確認し、確実に躯体(柱・間柱・スタッドなど)に留め付けます。

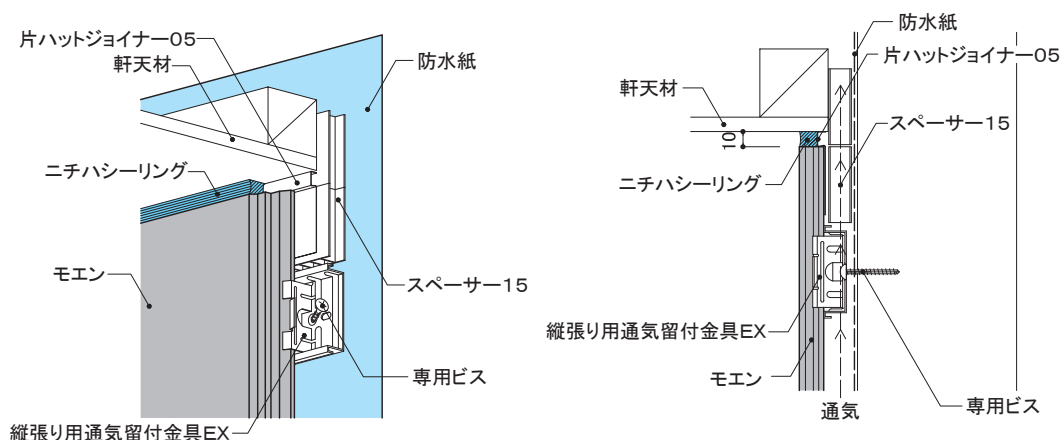


※ 通気がとれるよう、隙間を設けて施工してください。

9) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りスペーサー15の取り付けは軒天工事前に施工します。
 - 軒天材との取り合い部は、スペーサー15を取り付けた後、その上に片ハットジョイナー05を取り付けます。
 - 実に縦張り用通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×35mm、金具の丸穴に斜め打ち)で留め付けます。
- 注) 事前に躯体モジュールを確認し、確実に躯体(柱・間柱・スタッドなど)に留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。

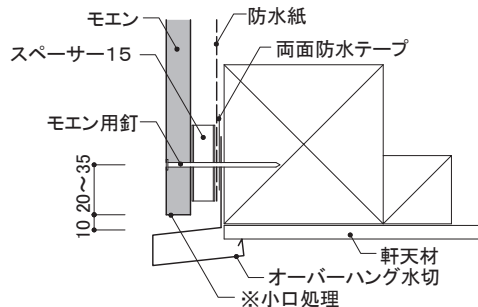
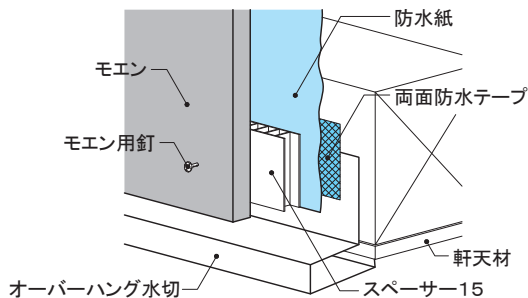


16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	通気金具	縦	なし

10) オーバーハング部

① オーバーハング水切

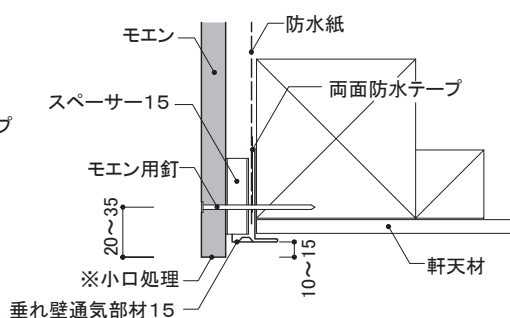
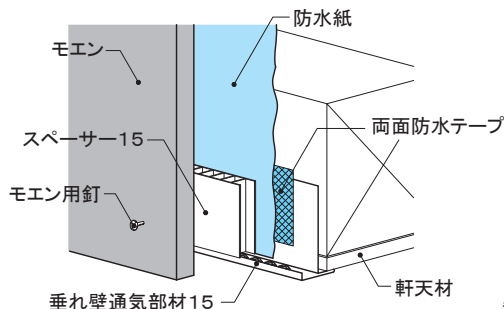
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

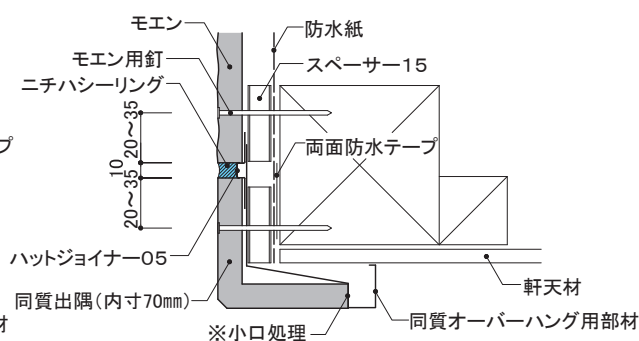
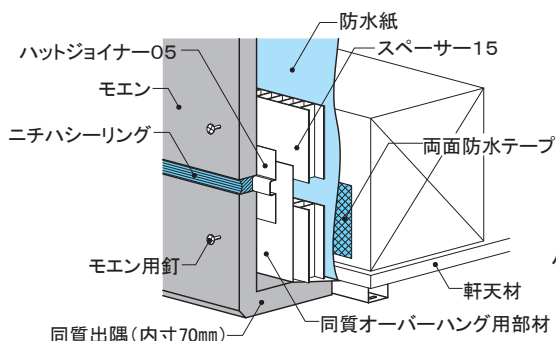
- 垂れ壁仕様にする場合は、必ず垂れ壁通気部材15を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材15の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 防水紙を両面防水テープで貼り付けます。
- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- モエン本体、同質出隅はスペーサー15、同質オーバーハング用部材、ハットジョイナー05を取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ3mm×75mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

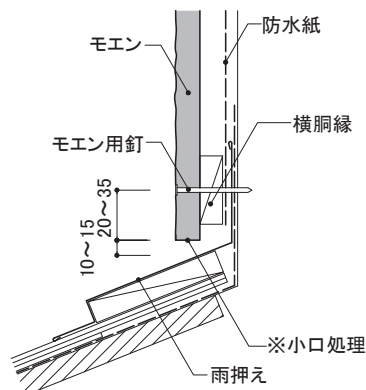
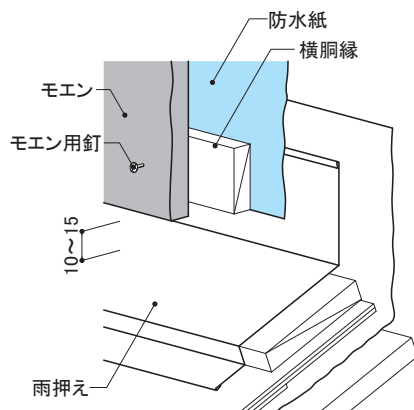
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 EX	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	通気金具	縦	なし

11) 下屋根部

①棟側

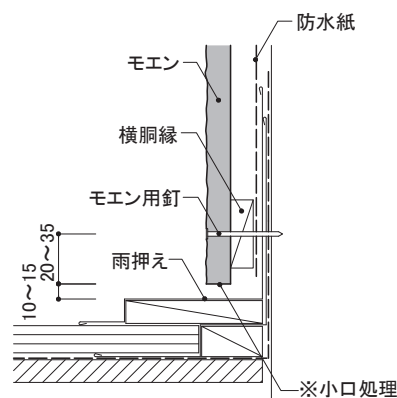
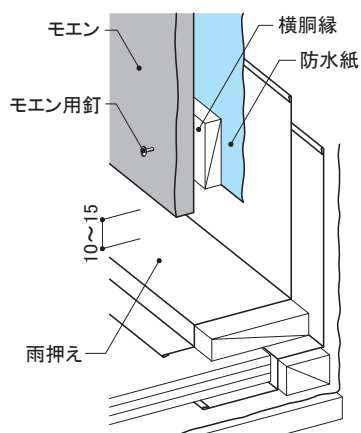
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンは先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



11) 下屋根部

②流れ側

- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンは先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

2-5 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

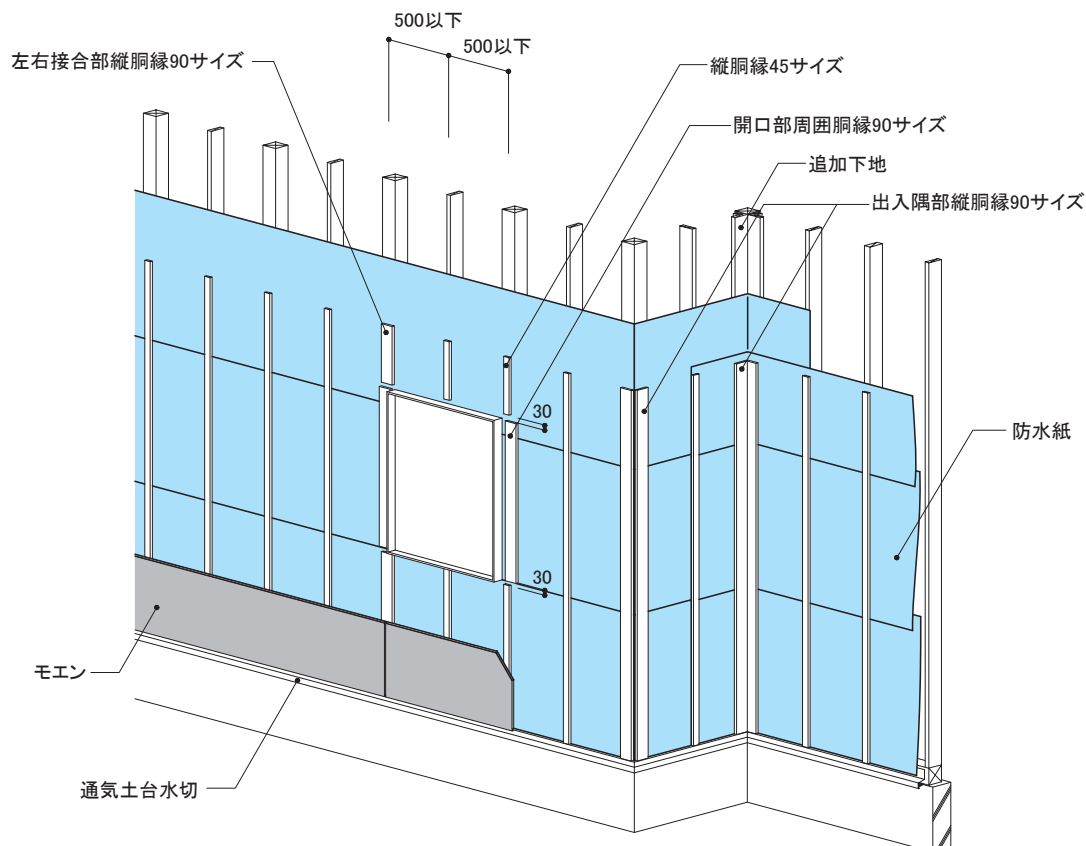
横張り

釘打ち施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 入隅部や出隅部などで、胴縁が躯体に留め付けられない場合は追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
- 下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、左右接合部、出入隅部、開口部まわりなどの指定箇所には90mm以上を使用します。
- 木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3.8mm×50mm以上のビスを使用し、500mm以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸(段差)は3mm以下となるように調整して施工します。
- 開口部まわりの縦胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- 積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。(P33参照)



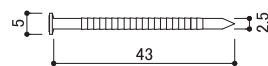
釘頭

釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	釘	横	縦胴縁 @500mm以下

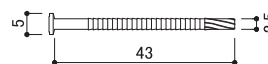
2) 主要部材一覧表

■専用釘(モエン留付用)



モエン用釘(ステンスリング釘)
【品番:JKR****】

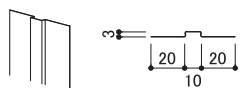
材質:ステンレス サイズ:φ2.5mm×43mm



モエン用釘(ステンスリング釘)
ポイントレス仕様【品番:JKT****】

材質:ステンレス サイズ:φ2.5mm×43mm

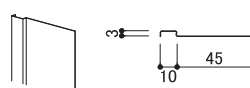
■ハットジョイナー



ハットジョイナー03

【品番:FH1003R】
材質:フッ素樹脂コート
高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.3mm 長さ:3,030mm

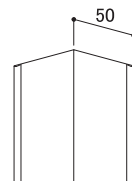
■片ハットジョイナー



片ハットジョイナー03

【品番:FHK1103R】
材質:フッ素樹脂コート
高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.3mm 長さ:2,000mm

■入隅50

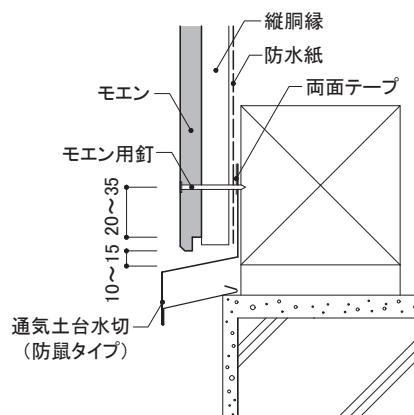
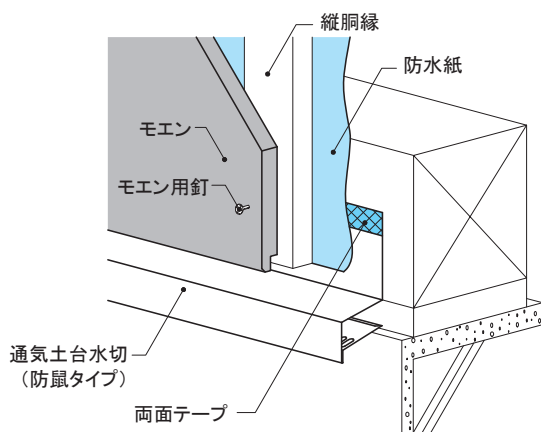


入隅50

【品番:JR1900】
材質:高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.27mm 長さ:3,030mm

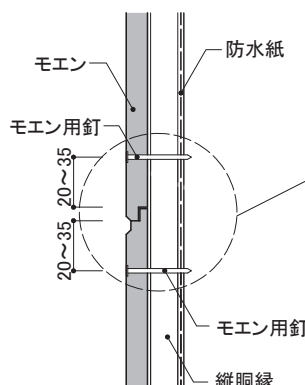
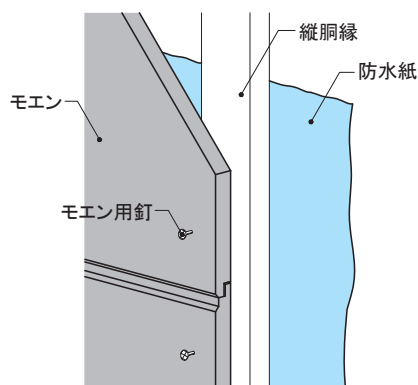
3) 土台部

- 通気土台水切は、土台に500mm以下の間隔で、モエン用釘などを用いて水平に取り付けます。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。

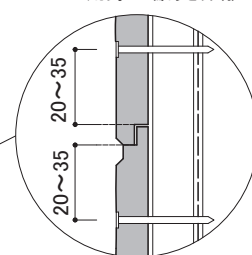


4) 上下接合部

- 実の乗り上げに注意して施工します。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



モエン用釘の端あき距離



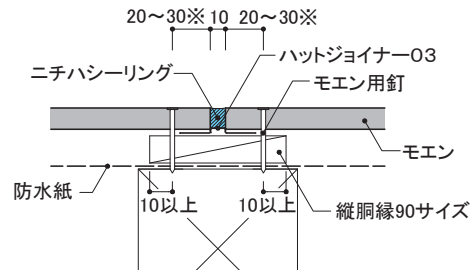
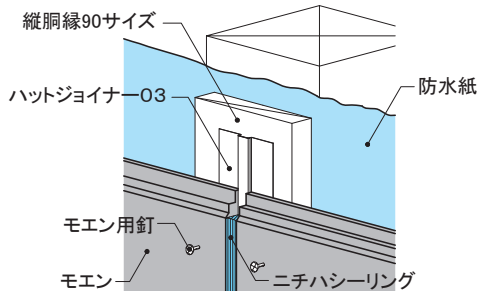
※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA
内外装建材総合カタログでご確認ください。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最
小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 縦胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	釘	横	

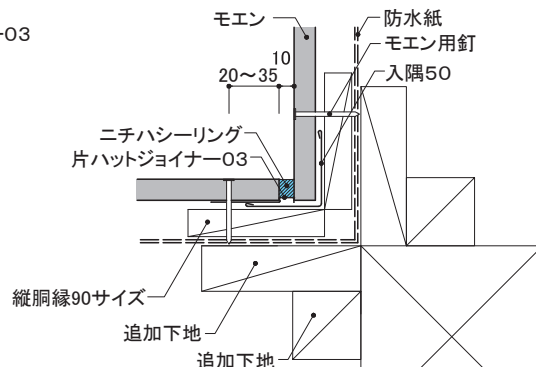
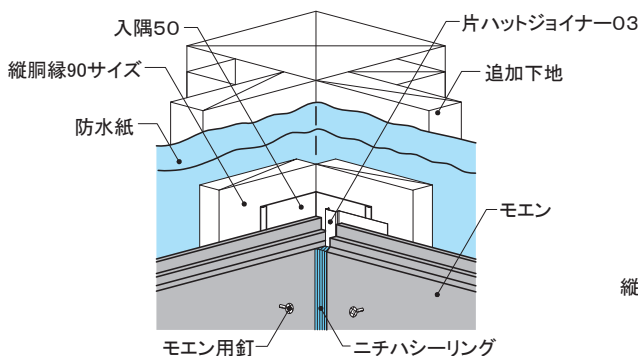
5) 左右接合部

- 左右接合部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



6) 入隅部

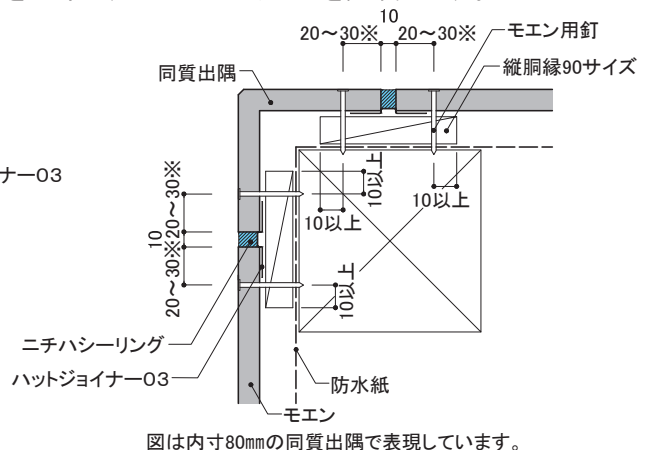
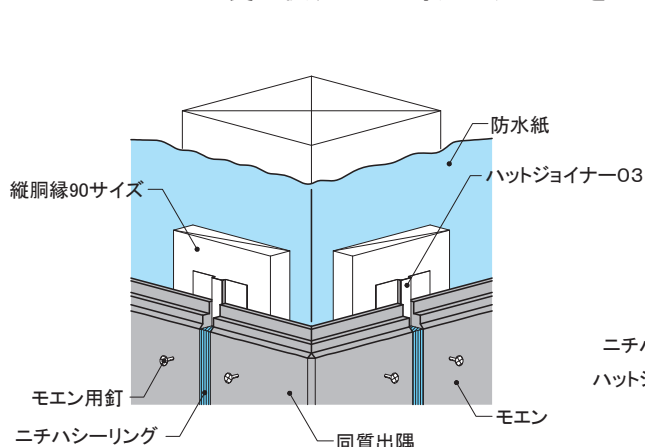
- 入隅部は、胴縁の留付下地として必ず追加下地を入れます。
- 入隅50を取り付けた後、先行のモエンを施工し、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



7) 出隅部

同質出隅

- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエン本体、同質出隅はモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

モエン
標準施工法

納まり詳細図
木造

鉄骨造
納まり詳細図

外張り
断熱工法

アウティ

軒天

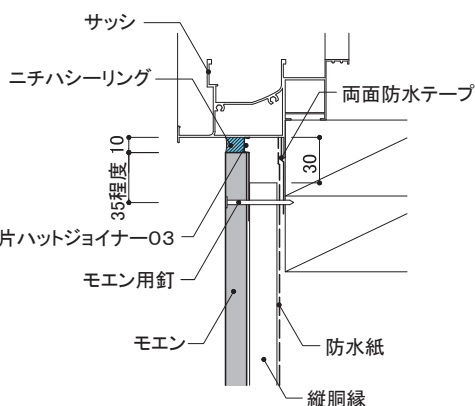
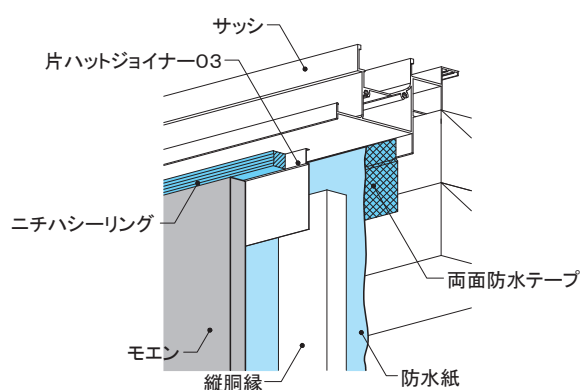
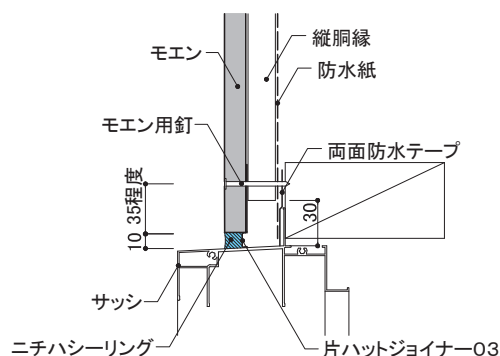
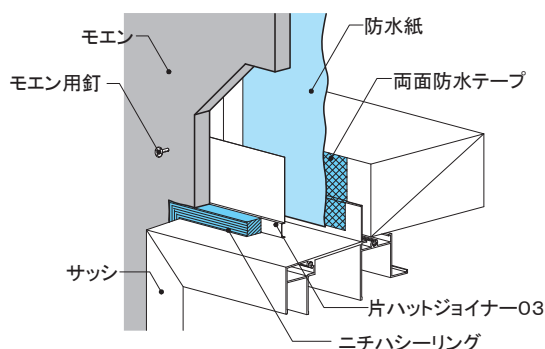
参考資料

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	釘	横	縦胴縁 @500mm以下

8) 開口部

① 上下側

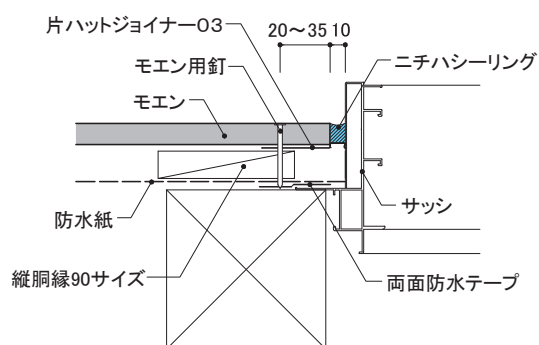
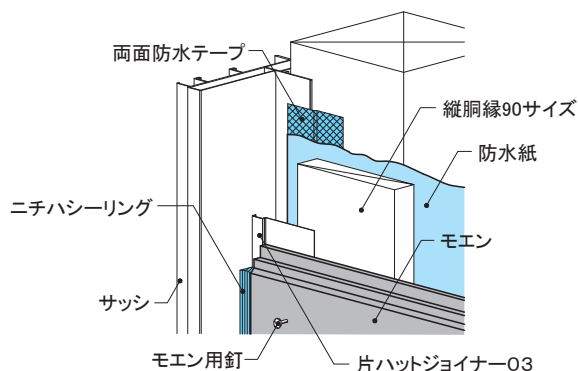
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



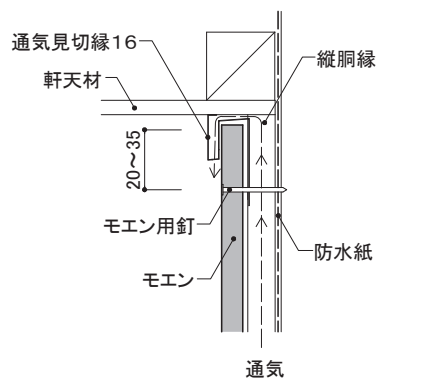
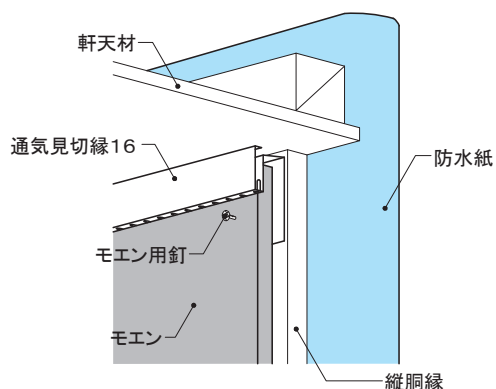
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 縦胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	釘	横	

9) 軒天部

①通気見切縁

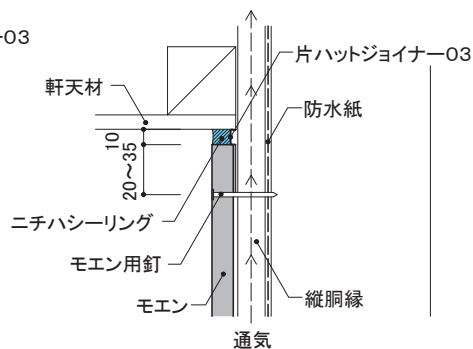
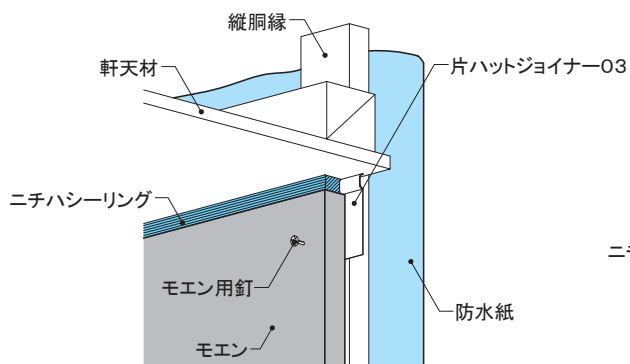
- モエンの施工前に、通気見切縁16を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



9) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りとは縁下地組みは軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品

1.5尺×10尺

下地

留付方法

張り方向

木胴縁組

M

W

木造軸組下地

釘

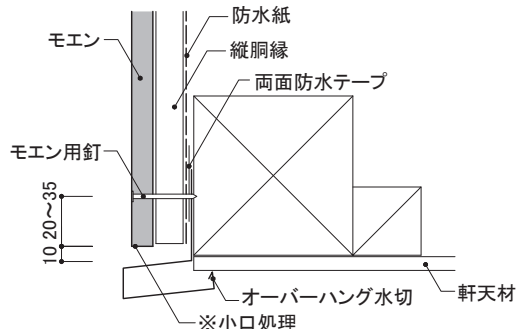
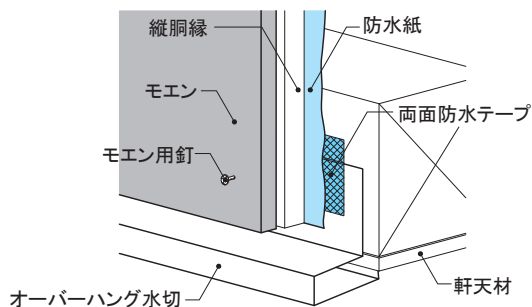
横

縦胴縁
@500mm以下

10) オーバーハング部

① オーバーハング水切

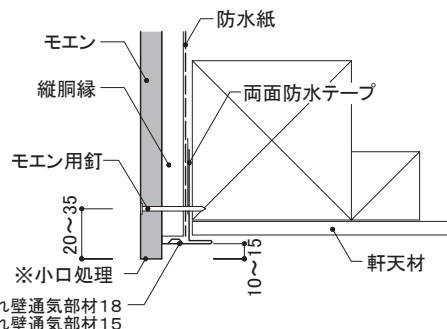
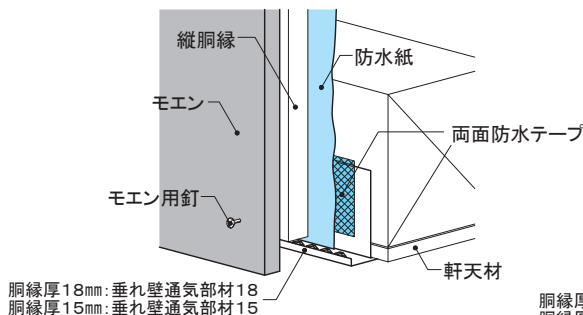
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

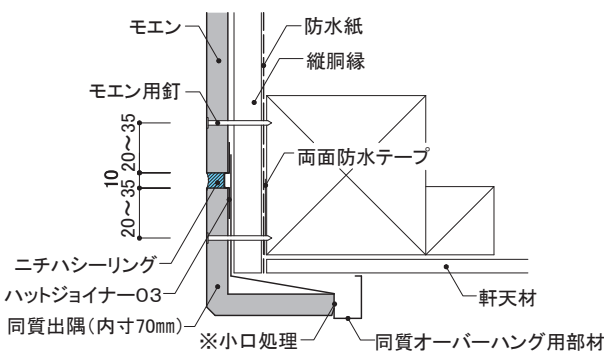
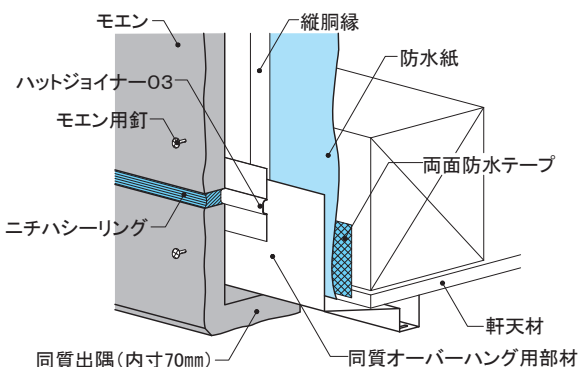
- 縦胴縁の厚みが18mmの場合は「垂れ壁通気部材18」を、縦胴縁の厚みが15mmの場合は「垂れ壁通気部材15」を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 防水紙を両面防水テープで貼り付けます。
- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- モエン本体、同質出隅はモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

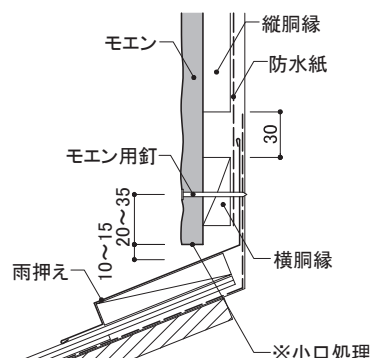
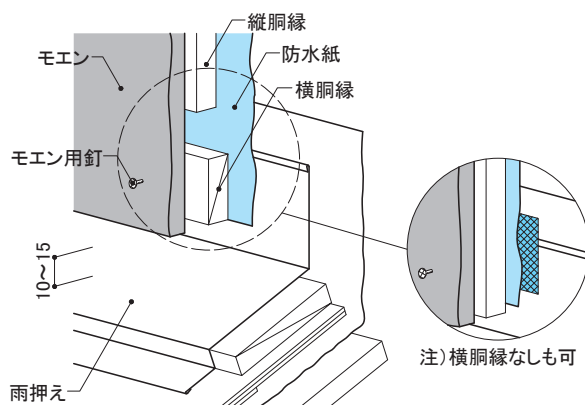
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 縦胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	釘	横	

11) 下屋根部

①棟側

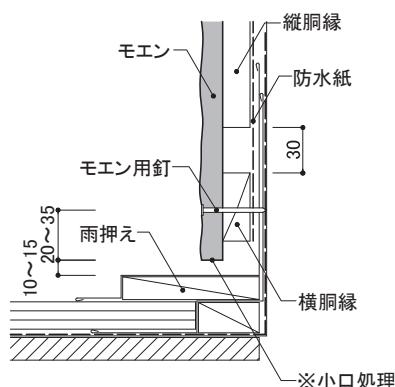
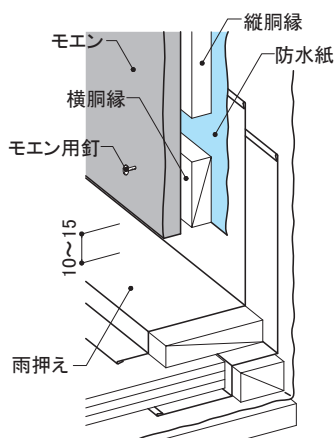
- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- 注) 横胴縁なしの場合は、雨押えと防水紙を両面防水テープで密着させます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



11) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

2-6 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

縦張り

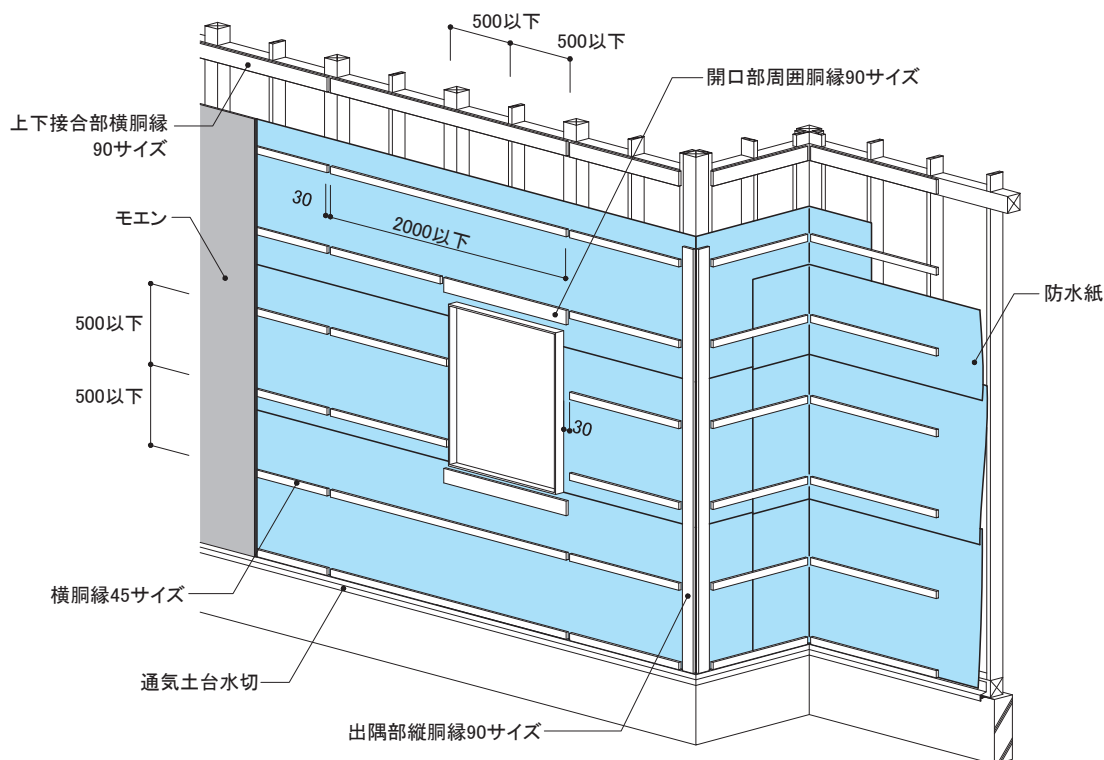
釘打ち施工

1) 基本構成図・下地組図

横胴縁(1. 5尺×10尺、3尺×10尺)

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 入隅部や出隅部などで、胴縁が躯体に留め付けられない場合は追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
- 下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。ただし、耐力面材がない場合は、厚み18mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、出入隅部や開口部まわりなどの指定箇所には90mm以上を使用します。
- 木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3. 8mm×50mm以上のビスを使用して500mm以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸(段差)は3mm以下となるように調整して施工します。
- 下地組みは、必ず通気ができるように2000mm以下の間隔で、30mm程度の隙間を設けます。
- 開口部まわりの横胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- 積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。(P34参照)
- モエンは胴縁ごとに、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2. 5mm×43mm)で1. 5尺品は3本、3尺品は5本留めします。

※モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分については専用補修液を塗布します。それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

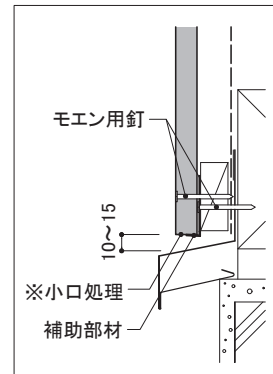
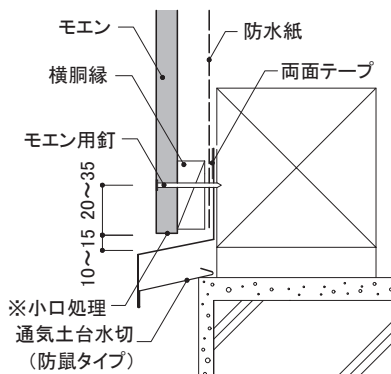
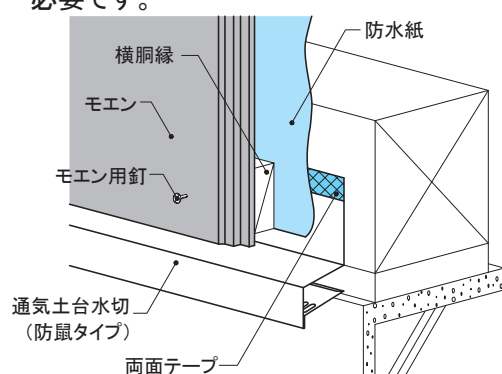
14mm厚品

(M) (W)

1.5尺×10尺
3尺×10尺下 地
木造軸組下地留付方法
釘張り方向
縦木胴縁組
横胴縁
@500mm以下

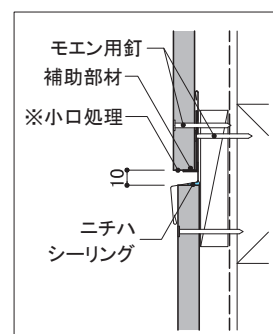
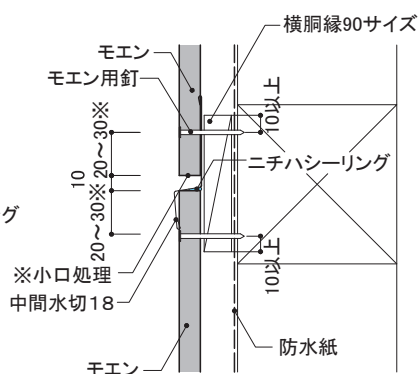
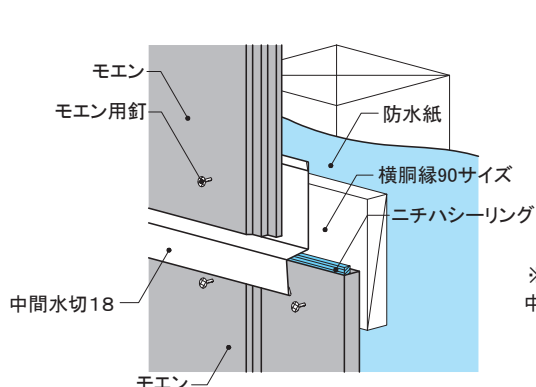
4) 土台部

- 通気土台水切は、土台に500mm以下の間隔で、モエン用釘などを用いて水平に取り付けます。
 - モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。
 - モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦張り釘打ち用補助部材を使用する場合は、モエン用釘を用いて250mm以下の間隔で取り付けます。
また、補助部材はモエンの荷重を長期的に負担する設計ではないので、モエンの下端は所定の釘打ちが必要です。



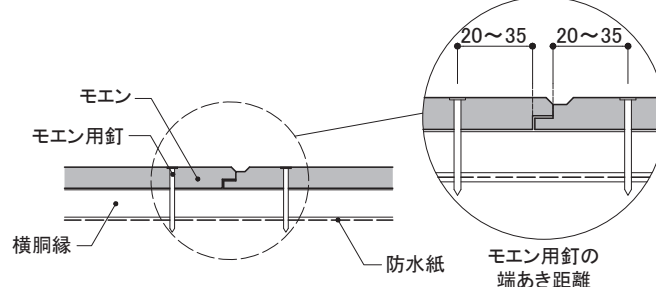
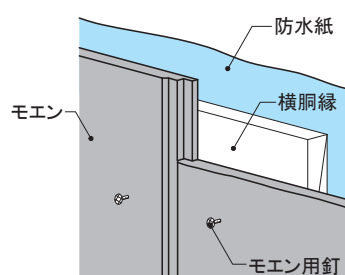
5) 上下接合部

- 中間水切18は、横胴縁に500mm以下の間隔で、モエン用釘などを用いて水平に留め付けます。
 - モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※横胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
※縦張り釘打ち用補助部材を使用する場合は、モエン用釘を用いて250mm以下の間隔で取り付けます。
また、補助部材はモエンの荷重を長期的に負担する設計ではないので、モエンの下端は所定の釘打ちが必要です。



6) 左右接合部

- 実を確実に納め、モエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品

M

W

1.5尺×10尺
3尺×10尺下 地
木造軸組下地

留付方法

釘

張り方向

縦

木胴縁組
横胴縁
@500mm以下モエン
標準施工法納まり詳細図
木造納まり詳細図
鉄骨造外張り
断熱工法

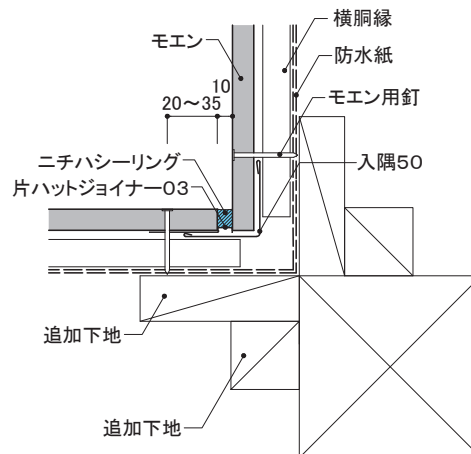
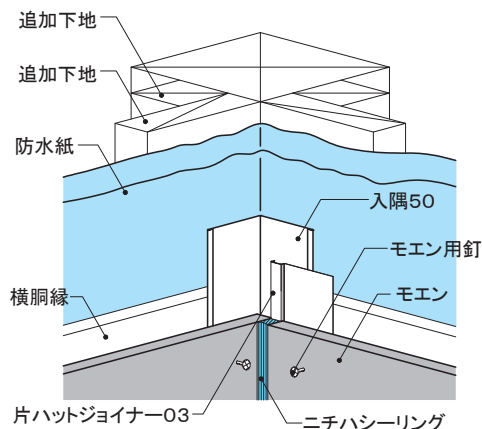
アウティ

軒天

参考資料

7) 入隅部

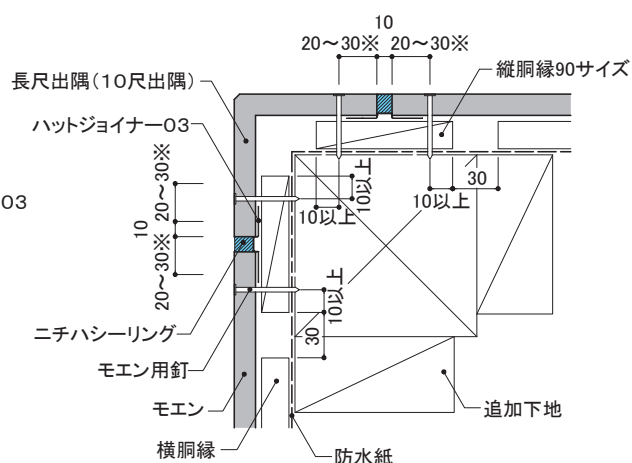
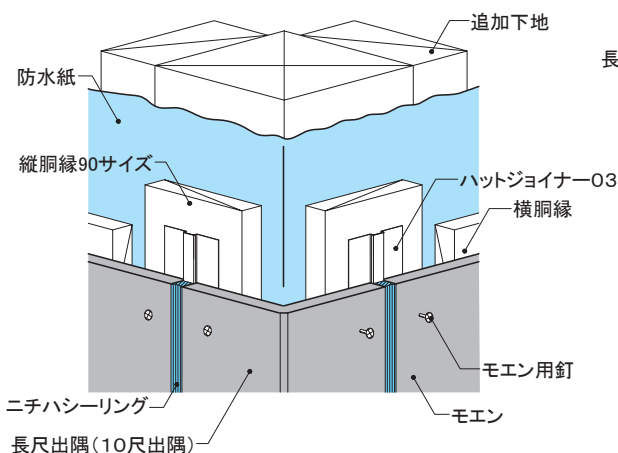
- 入隅部は、胴縁の留付下地として、必ず追加下地を入れます。
- 入隅50を取り付けた後、先行のモエンを施工し、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



8) 出隅部

同質出隅

- 長尺出隅(10尺出隅)との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

釘頭

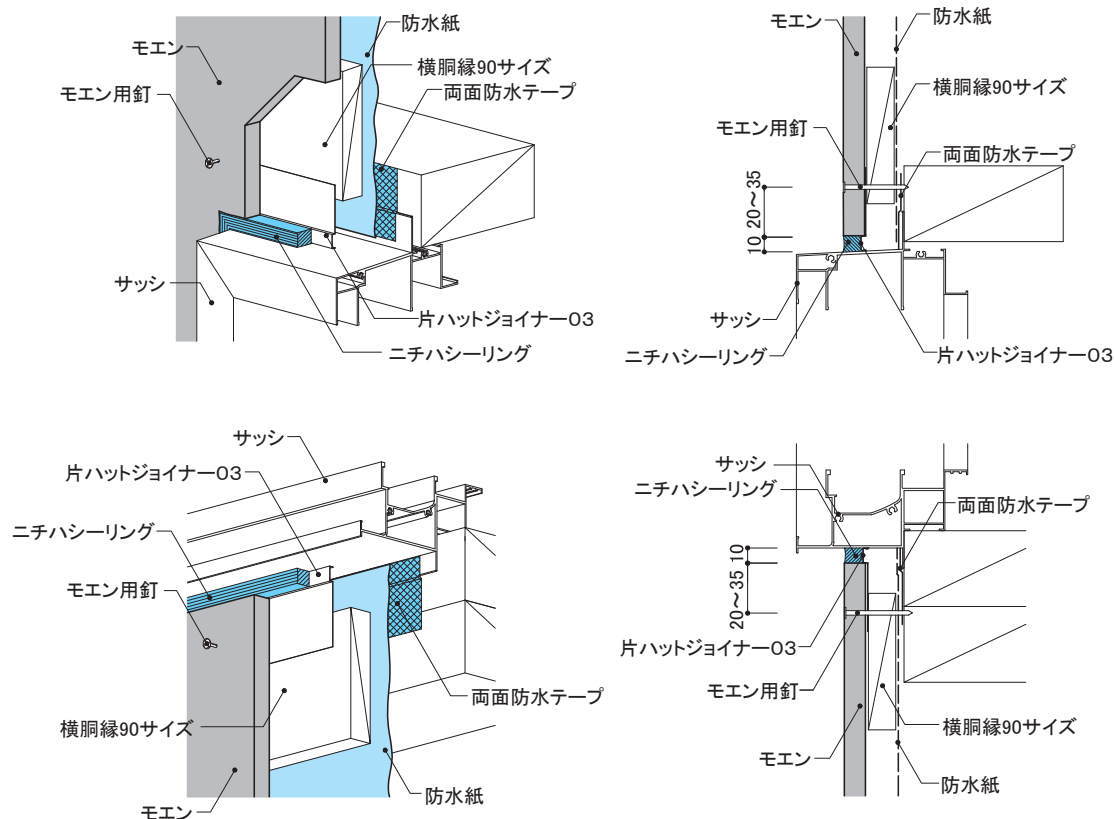
釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	釘	縦	

9) 開口部

① 上下側

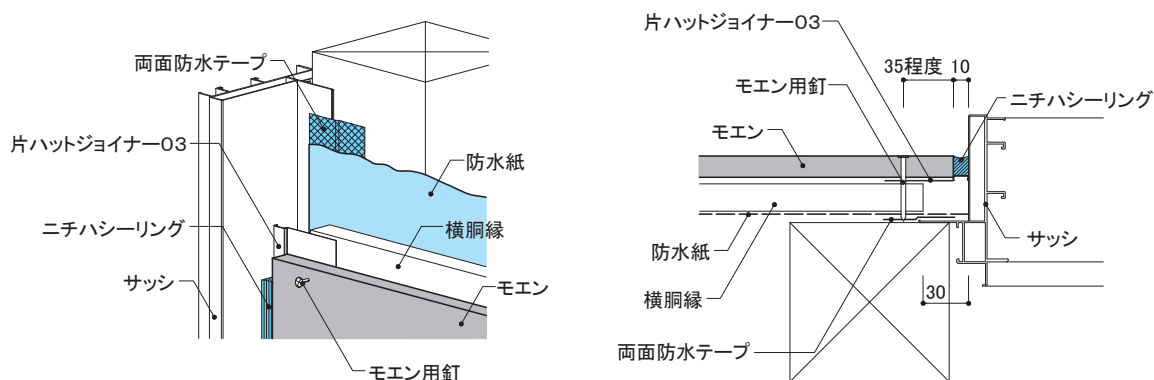
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



9) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品

1.5尺×10尺
3尺×10尺

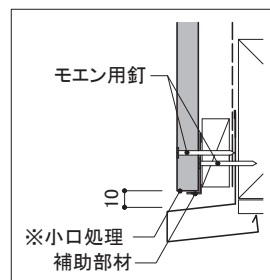
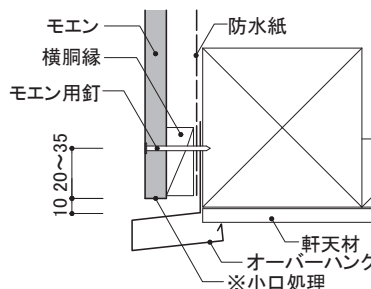
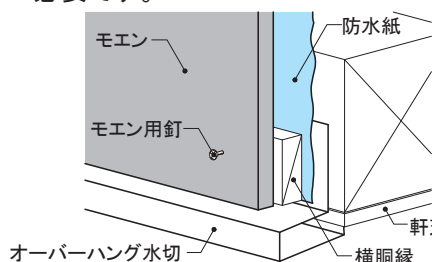
(M) (W)

下 地
木造軸組下地留付方法
釘張り方向
縦木胴縁組
横胴縁
@500mm以下

11) オーバーハング部

① オーバーハング水切

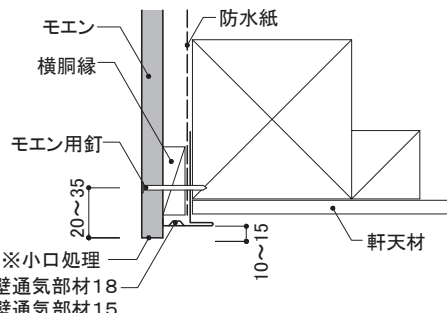
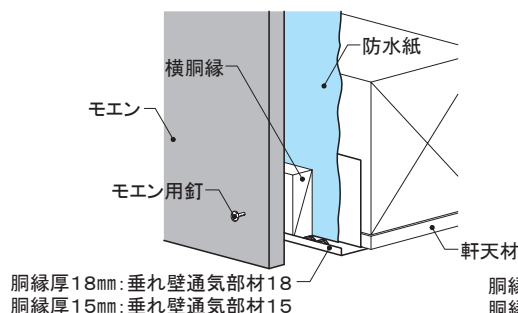
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせて施工します。
 - モエン下端に10mmの隙間を設けます。
 - モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦張り釘打ち用補助部材を使用する場合は、モエン用釘を用いて250mm以下の間隔で取り付けます。
また、補助部材はモエンの荷重を長期的に負担する設計ではないので、モエンの下端は所定の釘打ちが必要です。



11) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

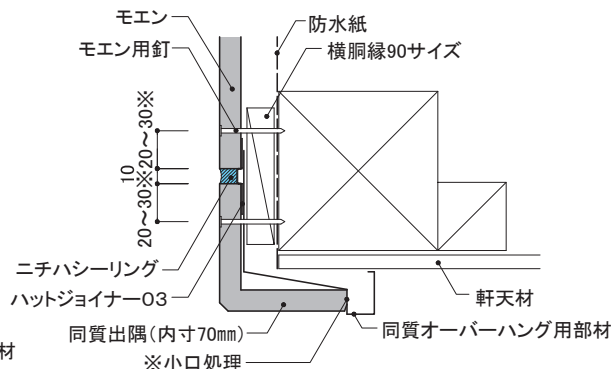
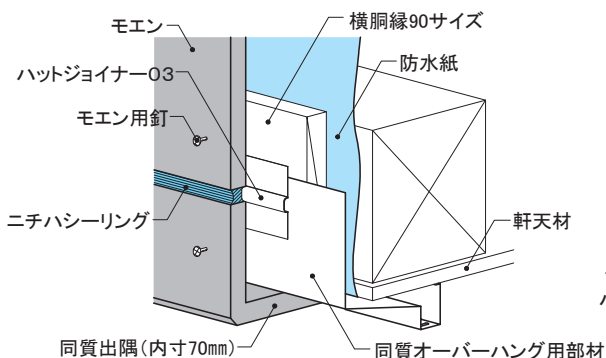
- 横胴縁の厚みが18mmの場合は「垂れ壁通気部材18」を、横胴縁の厚みが15mmの場合は「垂れ壁通気部材15」を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材の上にかぶせて施工します。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



11) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
 - モエン本体、同質出隅はモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
 - 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- ※横胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
●マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

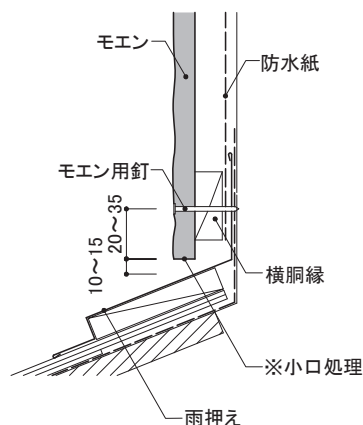
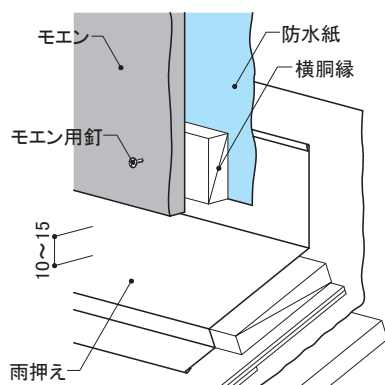
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	釘	縦	

12) 下屋根部

①棟側

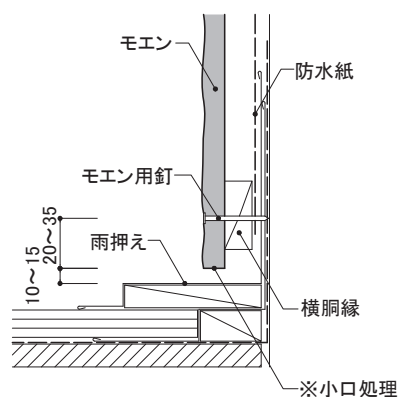
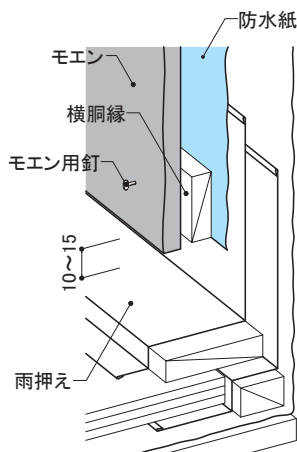
- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



12) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。